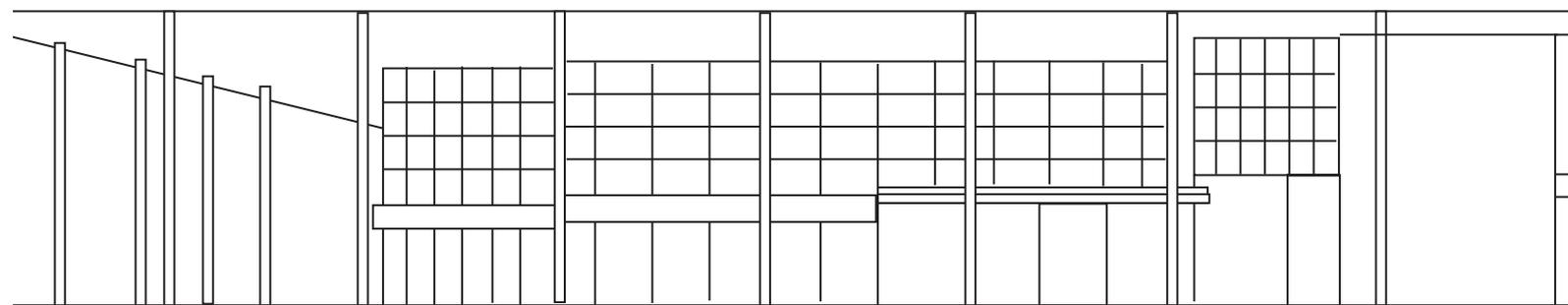


平成23年度

年報

VOL.24

米沢市上杉博物館



刊行にあたって

平成23年度、当館では7本の展覧会を開催いたしました。

前年度3月～4月半ばにかけて東日本大震災の影響で臨時休館を余儀なくされましたが、再開後の春の特別展「上杉氏のルーツ」会期中のゴールデンウィークには無料開放を行い、大きなにぎわいがありました。また秋の特別展「洛中洛外図屏風に描かれた世界」では当館の国宝「上杉本洛中洛外図屏風」に重要文化財の「林原本」「舟木本」も合わせて展観し、大変見応えのある内容となりました。また、追加事業として米沢ゆかりの日本画の大家が相次いでご逝去されたことを受け、追悼特別展「遠藤桑珠と福王寺法林」を急遽開催し、お二人の業績を偲びました。

ここに、平成23年度の年報を発刊するにあたり、これまでご協力を賜りました関係各位に深く感謝申し上げますとともに、今後ともなお一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

平成24年8月
米沢市上杉博物館

目 次

平成23年度事業報告

1 展 示	2
(1) 常設展示	2
(2) 企画展示	3
2 教育普及	16
3 調 査	21
4 収集保管	22
管理・運営	30
組 織	31



「菜の花と海」遠藤桑珠 1992（平成4）

平成 23 年度事業報告

1 展 示

(1) 常設展示 上杉文華館

国宝「上杉家文書」に記された贈答について、贈答品やその機会、人間関係などを紹介した。上杉本洛中洛外図屏風の複製も合わせて展示した。特別展によって洛中洛外図屏風（複製）が企画展示室に展示された場合は、それに代わる既図屏風などを展示したこともあった。



①「端午の節句」 4月16日（土）～5月24日（火）

- 既図屏風 六曲一双 桃山時代（16世紀）カ
- 九曜紋蜻蛉文馬具 一式 江戸時代中期（18世紀）
- 国宝 上杉家文書
 - 鯉坂長実書状 一通 （年未詳） 5月3日
 - 徳川秀忠御内書 一通 （年未詳） 5月4日
 - 大蔵卿局奉書 一通 （年未詳） 4月29日

②「特権の見返り」 5月26日（木）～6月21日（火）

- 5月26日（木）～6月5日（日） 既図屏風六曲一双 桃山時代（16世紀）カ
- 6月6日（月）～6月21日（火） 複製 国宝上杉本洛中洛外図屏風 六曲一双 狩野永徳
- 銅銭（開元通宝・元豊通宝・洪武通宝・永楽通宝ほか）九枚 唐代～明代（7～15世紀）
- 国宝上杉家文書
 - 足利義晴御内書 一通（享禄3年・1530） 9月28日
 - 足利義輝御内書 一通（天文21年・1552） 5月25日
 - 大館晴光書状 一通（天文21年・1552） 5月25日
 - 渡辺盛綱書状 一通（天文21年・1552） 5月28日
 - 山形光秀書状 一通（天文9年・1540カ） 9月27日
 - 徳川秀忠御内書 一通（元和9年・1623） 3月1日

③「珍しき物～特産品」 6月23日（木）～7月26日（火）

- 複製 国宝上杉本洛中洛外図屏風 六曲一双 原本 室町～桃山（16世紀） 狩野永徳
- 国宝「上杉家文書」
 - 北条氏康書状 一通（永禄12年・1569） 6月10日
 - 為直書状 一通（年未詳） 5月9日
 - 北条家進物折紙 一通（永禄12年・1569） 11月晦日
 - 武田勝頼書状 一通（天正9年・1581） 5月17日
 - 正覚坊秀清書状 一通（年未詳） 9月20日
 - 北条氏政書状 一通（永禄12年・1569） 11月29日
 - 小島職鎮書状 一通（永禄12年・1569） 4月26日

④「贈答の定番」 7月28日（木）～8月23日（火）

- 複製 国宝上杉本洛中洛外図屏風 六曲一双 原本 室町～桃山（16世紀） 狩野永徳
- 国宝上杉家文書
 - 北条氏綱書状 一通（大永5年・1525） 3月10日
 - 織田信長書状 一通（元亀2年・1571） 3月20日
 - 豊臣秀吉書状 一通（年未詳） 7月1日
 - 武田勝頼書状 一通（天正6年・1578） 11月18日
 - 武田勝頼書状 一通（天正9年・1581） 11月10日
 - 上野元治書状 一通（年未詳） 9月21日
 - 上杉謙信書状 一通（年未詳） 7月3日

⑤「重陽の節句」 8月25日（木）～9月27日（火）

- 複製 国宝上杉本洛中洛外図屏風 六曲一双 原本 室町～桃山（16世紀） 狩野永徳
- 国宝上杉家文書
 - 豊臣秀吉朱印状 一通（天正18年・1591カ） 9月7日
 - 豊臣秀頼黒印状 一通（年未詳） 9月3日
 - 高台院消息 一通（年月日未詳）
 - 徳川家康黒印状 一通（年未詳） 9月9日
 - 徳川秀忠御内書 一通（年未詳） 9月5日
 - 徳川家光書状 一通（年未詳） 9月3日

⑥「文化を支える」 9月29日（木）～10月7日（金） 11月7日（月）～11月23日（水祝）

- 複製 国宝上杉本洛中洛外図屏風 六曲一双 原本 室町～桃山（16世紀） 狩野永徳
- 国宝上杉家文書
 - 畠山義総書状 一通（年未詳） 12月3日
 - 勝興寺佐計書状 一通（年未詳） 2月21日
 - 細川高国書状 一通（大永4年・1524） 閏11月14日
 - 杉興相書状 一通（年未詳） 11月10日

- 橘松竹葵紋蒔絵香道具 一式 江戸時代（18世紀） 橘松竹葵紋蒔絵茶筆筒 一基 江戸時代（18世紀）
松梅竹に雀文桐紋散蒔絵棗 一合 江戸時代（17世紀）

⑦「お歳暮」11月25日（金）～12月25日（日）

- 複製 国宝上杉本洛中洛外図屏風 六曲一双 原本 室町～桃山（16世紀）狩野永徳

■国宝上杉家文書

北条氏政書状 一通	（永禄12年・1569）	12月26日	武田勝頼書状 一通	（年未詳）	2月6日
上杉謙信書状 一通	（年未詳）	12月晦日	豊臣秀吉朱印状 一通	（年未詳）	12月28日
徳川秀忠御内書 一通	（年未詳）	12月23日			

⑧「新春のお慶び」1月1日（日祝）～1月29日（日）

- 複製 国宝上杉本洛中洛外図屏風 六曲一双 原本 室町～桃山（16世紀）狩野永徳

■国宝上杉家文書

大江広春書状 一通	（永正17年・1520）	2月23日	定俊書状 一通	（年未詳）	正月25日
梶原政景書状 一通	（天正5年・1577）	2月26日	徳川秀忠書状 一通	（年未詳）	正月3日
上杉景勝書状 一通	（年未詳）	正月6日			

⑨「武家として」1月31日（火）～2月26日（日）

- 複製 国宝上杉本洛中洛外図屏風 六曲一双 原本 室町～桃山（16世紀）狩野永徳

■国宝上杉家文書

足利義晴御内書 一通	（大永8年・1528カ）	6月20日	前野長泰書状 一通	（年未詳）	正月3日
足利義昭御内書 一通	（永禄11年・1568）	3月6日	富森信盛書状 一通	（天文21年・1552）	5月25日
畠山義総書状 一通	（年未詳）	2月17日			

- 浅葱糸威二枚胴具足 一領 室町時代（16世紀）

⑩「身近な贈り物」2月28日（火）～3月25日（日）

- 複製 国宝上杉本洛中洛外図屏風 六曲一双 原本 室町～桃山（16世紀）狩野永徳

■国宝上杉家文書

黒金景信書状 一通	（天正16年・1588）	5月6日	広泰寺昌派書状 一通	（永禄12年・1569）	閏5月16日
広橋国光書状 一通	（永禄3年・1560）	7月2日	聖護院道増書状 一通	（年未詳）	4月21日
上杉景勝書状 一通	（年未詳）	9月25日			

⑪「贈り物が必要とき」3月27日（火）～4月24日（火）

- 国宝上杉本洛中洛外図屏風（4/21～）六曲一双 室町～桃山（16世紀）狩野永徳

- 複製 国宝上杉本洛中洛外図屏風（3/29～4/20）六曲一双 原本 室町～桃山（16世紀）

■国宝上杉家文書

山内重俊書状 一通	（年未詳）	6月3日	秋庭元当奉書 一通	（大永5年・1525）	閏11月14日
徳川秀忠御内書 一通	（元和6年・1620）	8月5日	鍋島勝茂書状 一通	（寛永5年・1628）	10月13日

- 上杉定勝書状案 一通（年月日未詳）

コレクショントーク

- ①5月14日（土） ②5月28日（土） ③6月25日（土）
 ④7月30日（土） ⑤8月27日（土） ⑥10月1日（土）
 ⑦11月26日（土） ⑧1月7日（土） ⑨2月4日（土）
 ⑩3月3日（土） ⑪3月31日（土）
 いずれも14：00から



2 企画展示

(1) 開館10周年記念特別展「上杉氏のルーツ」

会 期 ■平成23年4月16日(土)～6月5日(日)
会 場 ■企画展示室(100%使用) 常設展示一体型
開催日数 ■49日間
主 催 ■米沢市上杉博物館

内 容

上杉景勝が初代藩主となって以来、13代藩主上杉茂憲が明治維新を迎えるまで、270年の江戸時代を通じて、米沢藩は一度の国替えもなく上杉氏を領主に戴いた。その上杉氏のルーツはいかなるものか。いつ、どのように歴史の表舞台に登場したのか。常設展示も含め、いままで触れる機会がなかった。開館10周年の節目に際し、貴族であった勤修寺流藤原氏が上杉氏という武士として歩み始めた歴史を、国宝上杉家文書を中心に紹介した。関東管領上杉家の成立から最後の関東管領上杉謙信までを辿った。25mのケース全部使っても開ききれない長い上杉氏系図が好評だった。

東日本大震災の直後で、開催が危ぶまれたものの予定通りの開催となった。しかし、4月中は新幹線も動かず、入館者は例年と比べ激減したが、4月29日から5月8日まで入館無料としたため、同時期としては、平成21年の天地人博に次ぐ入館者となった。



入館料 一般600(480)円 高大生400(320)円 小中生250(200)円

入館者数 20,830人

展示資料 38点

関連事業 ■講演会 5月7日(土) 14:00～16:00

「関東管領上杉家の成立～上杉憲顕の政治的功績～」 筑波大学教授 山本隆志氏

■ギャラリートーク

4月16日(土) 10:00～11:00

「展覧会みどころ解説」 米沢市上杉博物館学芸主査 角屋由美子

4月23日(土) 14:00～15:00

「鎌倉公方と関東管領」 米沢市上杉博物館主任学芸員 阿部哲人

4月30日(土) 14:00～15:00

「戦国期の関東管領」 群馬県立歴史博物館主任学芸員 森田真一氏

5月21日(土) 14:00～15:00

「古河公方と関東管領」 鎌倉市学芸員 阿部能久氏

6月4日(土) 14:00～15:00

「古き家に候(そうろう)」 米沢市上杉博物館学芸主査 角屋由美子



印刷物

ポスター B2判

チラシ A4判

図録 A4判80頁

構 成

プロローグ 「上杉」の本姓は「藤原」

第一章 上杉氏の登場

第二章 関東管領上杉氏の成立

第三章 東国の争乱

第四章 衰退する関東管領上杉氏

第五章 最後の関東管領上杉謙信

エピローグ 古き家に候

展示資料

No.	資料名	員数	時代	所蔵
	プロローグ 「上杉」の本姓は「藤原」			
1	上杉謙信願文(国宝「上杉家文書」)	1通	室町時代 元龜3年(1572)6月15日	米沢市上杉博物館
2	上杉治憲(鷹山)書	1幅	江戸時代 寛政9年(1797)	米沢市上杉博物館

No.	資料名	員数	時代	所蔵
3	近衛前久書状 (国宝「上杉家文書」)	1通	室町時代 (永禄4年・1561)	米沢市上杉博物館
4	上杉氏系図 (国宝「上杉家文書」)	1帖	江戸時代 (19世紀)	米沢市上杉博物館
第一章 上杉氏の登場				
5	上杉重房坐像	1基	明治時代 明治35年(1902)3月	個人
6	上杉清子消息 (国宝「上杉家文書」)	1通	南北朝時代 (建武5年・1338)5月27日	米沢市上杉博物館
7	足利尊氏書状 (国宝「上杉家文書」)	1通	南北朝時代 (年未詳)9月20日	米沢市上杉博物館
第二章 関東管領上杉氏の成立				
8	足利直義書状 (国宝「上杉家文書」)	1通	南北朝時代 (建武4年・1337)5月19日	米沢市上杉博物館
9	足利義詮御内書 (国宝「上杉家文書」)	1通	南北朝時代 (康安元年・1361)9月15日	米沢市上杉博物館
10	足利基氏書状 (国宝「上杉家文書」)	1通	南北朝時代 (貞治2年・1363)3月24日	米沢市上杉博物館
11	太平記 (米沢市指定文化財)	41冊(巻22欠)	室町時代 (16世紀)	市立米沢図書館
12	細川頼之奉書 (国宝「上杉家文書」)	1通	南北朝時代 応安2年(1369)10月3日	米沢市上杉博物館
13	足利義満御内書 (国宝「上杉家文書」)	1通	南北朝時代 (康暦元年・1379)4月15日	米沢市上杉博物館
第三章 東国の争乱				
14	足利持氏安堵御教書(国宝「上杉家文書」)	1通	室町時代 応永24年(1417)閏5月25日	米沢市上杉博物館
15	足利義持安堵下文(国宝「上杉家文書」)	1通	室町時代 応永24年(1417)7月4日	米沢市上杉博物館
16	足利義教御内書 (国宝「上杉家文書」)	1通(1巻)	室町時代 (永禄12年・1440)11月22日	米沢市上杉博物館
17	足利義教御内書 (国宝「上杉家文書」)	1通(1巻)	室町時代 (永禄13年・1441)正月25日	米沢市上杉博物館
18	足利義教御内書 (国宝「上杉家文書」)	1通(1巻)	室町時代 (嘉吉元年・1441)5月2日	米沢市上杉博物館
19	足利義教御内書 (国宝「上杉家文書」)	1通(1巻)	室町時代 (永禄10年・1438)10月21日	米沢市上杉博物館
20	上杉憲実書状 (国宝「上杉家文書」)	1通	室町時代 (文安元年・1444)9月2日	米沢市上杉博物館
21	畠山持国奉書写「山内上杉家御教書以下引付」 (国宝「上杉家文書」)	1通(1冊)	室町時代 宝徳2年(1450)7月10日	米沢市上杉博物館
22	後花園天皇口宣案(国宝「上杉家文書」)	1通	室町時代 享徳3年(1454)3月29日	米沢市上杉博物館
23	上杉房定書状 (国宝「上杉家文書」)	1通	室町時代 (享徳4年・1455)6月9日	米沢市上杉博物館
24	細川勝元奉書 (国宝「上杉家文書」)	1通	室町時代 享徳4年(1455)7月29日	米沢市上杉博物館
第四章 衰退する関東管領上杉氏				
25	足利義晴御内書(国宝「上杉家文書」)	1通	室町時代 (享禄元年・1528カ)12月12日	米沢市上杉博物館
26	大館常興書状 (国宝「上杉家文書」)	1通	室町時代 (享禄元年・1528カ)12月12日	米沢市上杉博物館
27	八木義宣書状 (国宝「上杉家文書」)	1通	室町時代 (大永5年・1525)3月23日	米沢市上杉博物館
28	上杉憲盛書状 (国宝「上杉家文書」)	1通	室町時代 (永禄12年・1569)7月15日	米沢市上杉博物館
29	足利義輝御内書(国宝「上杉家文書」)	1通	室町時代 (永禄2年・1559)6月26日	米沢市上杉博物館
第五章 最後の関東管領上杉謙信				
30	馬上の上杉謙信 福王寺法林筆	1面	昭和時代 昭和26・27年ごろ	米沢市上杉博物館
31	太刀 無銘 (伝元重)(重要文化財)	1口	南北朝時代 (14世紀)	上杉神社
32	長巻 (伝片山一文字)(重要文化財)	1口	鎌倉時代 (14世紀)	上杉神社
33	上杉本洛中洛外図屏風 (国宝)	6曲1双	室町～桃山時代 (16世紀)	米沢市上杉博物館
34	歴代年譜(謙信公)(国宝「上杉家文書」)	5冊	江戸時代 (17世紀)	米沢市上杉博物館
35	勝色威胴丸具足	1領	室町時代 (16世紀)	上杉神社
36	佐竹義重書状 (国宝「上杉家文書」)	1通	室町時代 (永禄11年・1568)12月27日	米沢市上杉博物館
エピローグ 古き家に候(そうろう)				
37	米沢藩歴代藩主像	1幅	明治時代 明治17年(1884)4月28日	米沢市上杉博物館
38	削封日記	2冊	江戸時代 弘化4年(1847)	米沢市上杉博物館

※(和暦・西暦)は推定年代

(2) 開館 10 周年記念企画展「サントリー美術館名品展 —花鳥風月—」

会 期 ■前期 平成23年 6月11日(土)～6月26日(日)
後期 平成23年 6月28日(火)～7月18日(月祝)

会 場 ■企画展示室(100%使用)

開催日数 ■36日間

主 催 ■米沢市上杉博物館

特別協力 ■サントリー美術館



内 容

国宝1件、重要文化財12件、重要美術品18件を含む国内有数のコレクションを誇り、平成23年に開館50周年を迎えたサントリー美術館の収蔵品から、日本美術の名品を紹介。絵画、漆工芸、陶磁器、ガラス、染織品など幅広いジャンルの美術品を「花鳥風月」の視点で紹介し、伝統に裏打ちされた日本の美意識の世界に触れて頂いた。

また、サントリー美術館のテーマである「生活の中の美」にも触れ、日本人のくらしや生活習慣の中で生み出されてきた造形にも思いをはせることができた。米沢ではなかなか見る機会の少ない、国内有数のコレクションに、茶道関係者をはじめとする愛好者のみならず、学校の利用も多かった。

入 館 料 一般400(320)円 高大生300(240)円 小中生200(160)円

入館者数 5,132人

展示資料 54点 ※途中一部展示替

関連事業 ■ギャラリートーク 6月11日(土) 14:00～
□ワークショップ(教育普及事業頁で報告)



印刷物
ポスター B2判
チラシ A4判

構 成

花鳥風月① いろどり ～日本人の自然観と美意識

花鳥風月② くらし ～日本人の生活と美術

四季をめぐる 陶磁器

和ガラス 抽象化された自然

屏風絵 くらしを彩るパノラマ

漆工 たしなみの道具たち

花鳥風月③ ころも ～茶の湯の美 洗練と昇華

展示資料

◎=重要文化財 ○=重要美術品

展示期間	番号	指定	資料名	作者・制作地	員数	時代
前	1		綺雄日芝蝶螺鈿蒔絵重箱		一具	江戸時代(17世紀)
後	2		紫陽花螺鈿蒔絵重箱		一合	江戸時代(17世紀)

花鳥風月① いろどり ～日本人の自然観と美意識

前	3		能装束 雪輪水仙模様唐織		一領	江戸時代(19世紀)
前	4		能装束 網代に桜楓模様縫箔		一領	江戸時代(18世紀前半)
後	5		能装束 紫陽花模様縫箔		一領	江戸時代(18世紀前半)
後	6		能装束 段に市松入子菱に朝顔蝶菊模様唐織		一領	江戸時代(18-19世紀)

花鳥風月② くらし ～日本人の生活と美術

四季をめぐる 陶磁器

前	後	7	色絵菊桔梗文八角瓶	肥前/有田	二口	江戸時代(17世紀末-18世紀初)
前	後	8	色絵葡萄鳥文瓢形酒注	肥前/有田	一合	江戸時代(17世紀後半)
前	後	9	色絵龍田川文皿	肥前/鍋島藩窯	一口	江戸時代(17世紀後半-18世紀前半)
前	後	10	色絵椿文皿	肥前/鍋島藩窯	一口	江戸時代(17世紀後半-18世紀前半)
前	後	11	色絵鶴香合	野々村仁清	一合	江戸時代(17世紀後半)

展示期間	番号	指定	資料名	作者・制作地	員数	時代
前 後	12		鏤絵雪景富士図角皿	作／尾形乾山 画／尾形光琳	一口	江戸時代（18世紀前半）
前 後	13		色絵桜楓文透鉢	仁阿弥道八 (二代高橋道八)	一口	江戸時代（19世紀）
前 後	14		鏤絵菖蒲文鉢	肥前／唐津焼	一口	桃山時代(16世紀末-17世紀初)
和ガラス 抽象化された自然						
前 後	15		グラヴェール梅文盃		一口	江戸時代（19世紀）
前 後	16		切子 文具揃		一式	江戸時代後期-明治時代前期(19世紀)
前 後	17		薩摩切子 藍色被蓋付壺		一合	江戸時代後期(19世紀中頃)
前 後	18		薩摩切子 藍色被脚付杯		一口	江戸時代後期-明治時代前期 (19世紀後半)
前 後	19		薩摩切子 藍色被鉢		一口	江戸時代後期-明治時代前期 (19世紀後半)
前 後	20		紫色梅形皿		一枚	江戸時代中期（18世紀）
前 後	21		梅文盃		一枚	江戸時代（19世紀）
前 後	22		緑色唐草文四方向付		五口	江戸時代中期（18世紀）
前 後	23		青色菊形向付		六口	江戸時代中期（18世紀）
前 後	24		菊唐草文鉢		一口	江戸時代中期-後期(18-19世紀)
屏風絵 暮らしを彩るパノラマ						
前	25		春夏花鳥図屏風	狩野永納	六曲一双	江戸時代（17世紀後半）
前	26		孔雀図屏風	雲谷等璠	八曲一双	江戸時代（17-18世紀）
前	27		吉野図屏風		六曲一隻	室町時代（16世紀）
後	28	◎	四季花鳥図屏風	伝 土佐広周	六曲一双	室町時代（15世紀）
後	29	○	秋草図屏風	伝 尾形光琳	二曲一双	江戸時代（18世紀）
後	30		武蔵野図屏風		六曲一双	江戸時代（17世紀）
漆工 たしなみの道具たち						
前	31	◎	小倉山蒔絵硯箱	五十嵐派	一合	室町時代（15世紀）
前	32		芒蝶螺鈿蒔絵香枕		一基	江戸時代（17世紀）
後	33		菊萩蒔絵長文箱		一合	桃山時代（16世紀末）
後	34		海浜松桜蒔絵硯箱		一合	桃山時代（16世紀末）
前	35		秋草蒔絵角盥		一口	桃山時代（17世紀初）
前	36		秋草蒔絵椀		一口	桃山時代（17世紀初）
後	37	○	秋草蒔絵鏡台		一基	桃山時代（17世紀初）
後	38		菊蒔絵櫛箱		一合	桃山時代（17世紀初）
前	39	○	松椿蒔絵香合		一合	室町時代（15-16世紀）
前	40		片身替若松菊蒔絵香箱		一合	桃山時代（16世紀前後半）
前	41		秋草螺鈿蒔絵伽羅箱	伝 五十嵐道甫	一合	江戸時代（17世紀中頃）
後	42		秋草海松貝蒔絵香炉		一合	桃山時代（17世紀初）
後	43		竹蒔絵八角香箱		一合	南北朝時代（14世紀前半）
後	44	○	桐竹蒔絵香合		一合	江戸時代（17世紀）
花鳥風月③ ころろ ～茶の湯の美 洗練と昇華						
前 後	45		黒樂四方茶碗 銘 山里	樂道入	一口	江戸時代（17世紀前半）
前 後	46		赤樂茶碗 銘 熟柿	本阿弥光悦	一口	江戸時代（17世紀前半）
前 後	47		鏤絵染付松樹文茶碗	尾形乾山	一口	江戸時代（18世紀前半）
前 後	48		褐釉茶入	高取	一口	江戸時代（17世紀）
前 後	49		茶杓 銘 松緑	木下長嘯子	一本	江戸時代（17世紀前半）
前 後	50		矢筈口水指	信楽	一口	桃山時代（17世紀初）
前 後	51		耳付花入	伊賀	一口	桃山時代（17世紀初）
前 後	52	○	猿猴捉月図野溝釜		一口	江戸時代（17世紀）
前	53		柳下絵古今集和歌色紙	書／本阿弥光悦 画／俵屋宗達	一幅	桃山時代-江戸時代(17世紀前半)
後	54		鳶下絵新古今集和歌色紙	書／本阿弥光悦 画／俵屋宗達	一幅	桃山時代 (慶長11年/1606)

(3) 開館10周年記念企画展「近くて懐かしい昭和2 昭和の旅の記憶」

会 期 ■平成23年7月28日(木)～9月25日(日)

会 場 ■企画展示室(100%使用)

開催日数 ■58日間

主 催 ■米沢市上杉博物館

協 力 ■昭和日常博物館・北名古屋市歴史民俗資料館
高島町郷土資料館、山形新聞社、東映株式会社



内 容

私たちの現在の暮らしは、明治、大正、昭和と続く人々の営みの積み重ねの結果としてある。そして今の私たちの暮らしそのものも未来の人々の前に積み重なっていく。暮らしの歴史はあまりに日常的な行動の積み重ねであるがために文字で記録されたりすることも稀である。まして、一人ひとりの記憶は記録として残りにくい。私たちの暮らしの記憶は消え行くはかない状態にある。特に昭和30～40年代においては、それまでなかった電化製品(テレビ、冷蔵庫、洗濯機など)が登場し、また交通手段も自動車、電車、新幹線など著しい変化を遂げ急速にライフスタイルが変貌した。

本展ではこの昭和30～40年代の暮らし、特に日常から離れた「旅」に焦点をあて、当時の旅のスタイル、乗り物やおみやげ、などから楽しかった旅の記憶を呼び覚まし、それほど昔ではないのにとても懐かしい、「昭和」という時代がもつ匂いや思いの秘密に迫る。昭和を生きた世代はもちろん昭和を知らない世代にも『懐かしい』という感情を抱かせる『昭和』という時代はどのような時代であったのか、昭和の旅の情景と共に当時の人々の暮らしのあり方を紹介した。三世代で日々の暮らしについて「語る」きっかけづくりを演出するため、市民に呼びかけ《昭和の記憶》にまつわるおみやげ、写真などを募集し展示した。また、館内のミュージアムカフェにおいては、昭和の喫茶店の雰囲気を出す造作を施し、メニューも期間限定でクリームソーダ・氷水・ミルクケーキ・昭和のおやつメニューを設定した。

地域との連携においては、置賜地域の高齢者福祉施設の利用者に対して観覧無料の措置を行い、利用促進に結びついていた。

入 館 料 一般400(320)円 高大生300(240)円 小中生200(160)円

入館者数 14,995人

展示資料 54点 ※途中一部展示替

関連事業 ■ギャラリートーク 7月28日(木)10:00

昭和日常博物館・北名古屋市歴史民俗資料館
館長(学芸員) 市橋芳則氏

ワークショップ(教育普及事業頁で報告)



印刷物
ポスター B2判
チラシ A4判

構 成

1. 昭和の旅へ時間旅行 SLの走る風景【映像・SL1/2模型】
2. なつかしの駅前広場(駅前交番・駅前喫茶・駅前写真館=米沢昭和の写真)
3. 旅の記録映像(昭和・ある駅の一日)
4. 旅にまつわる実物資料展示
昭和の茶の間再現
 - I 旅のスタイル=修学旅行・新婚旅行・家族旅行(旅の持ち物・装い)
 - II 旅と乗り物=列車の座席・寝台車・駅弁・新幹線・バス・昭和の駅弁(米沢からの旅)
 - III 旅とおみやげ=おみやげ選び・絵葉書としおり・置物・ペナント・キーホルダー・お守りなど
5. 市民連携企画 モノがつなく旅の記憶



(4) 開館10周年記念特別展「洛中洛外図屏風に描かれた世界」

会 期 ■ 10月8日(土)～11月6日(日)

開催日数 ■ 29日

会 場 ■ 企画展示室(100%使用)常設展示一体型

主 催 ■ 米沢市上杉博物館・群馬県立歴史博物館・林原美術館

共 催 ■ 立正大学



内 容

米沢市上杉博物館、群馬県立歴史博物館、林原美術館の3館に立正大学を加えたプロジェクトを核として開催された展覧会。平成23年3月から翌年3月の期間にこの3館を巡回する。当館は群馬に次ぐ開催である。また、この展覧会は立正大学文学部教授黒田日出男教授を代表者とする科研「中近世風俗画の高精細デジタル化と絵画史料学的研究」(課題番号17102001 2005(平成17)～2009(平成21)年度科学研究費補助金 基盤研究(S))における研究成果の公開の一環として位置付けられていた。

本展では、国宝上杉本のほか、重要文化財舟木本・林原本をはじめ、上杉本との関連性で注目される東博模本や、近年明らかになった岐阜歴博本など、国内に存在する洛中洛外図の優品が一堂に会した。また、上杉本や林原本の伝来に関係した人物ゆかりの品や、画中に描かれた調度品と同等の文化財等も合わせて展示し、洛中洛外図屏風の世界をより身近に感じる視点を提示した。さらに高精細デジタル画像による画像検索システムを6台準備し、上杉本・林原本・岐阜歴博本の3点について任意に画像を見ることができるようにした。クリアな拡大画像によって画面の微細な部分にも関心を持ってもらう試みでもある。また10分程度の紹介映像も提供した。多角的に洛中洛外図を紹介する展示となった。

入館料 一般600(480)円 高大生400(320)円 小中生250(200)円

入場者数 11,069名

展示資料 52点

関連事業 □講演会

①10月9日(日)13:30～15:30 伝国の杜2階大会議室
「洛中洛外図屏風上杉本の人々ー装いは何を語るのか」
佐多芳彦氏(立正大学文学部准教授)

②10月16日(日)13:30～15:30 伝国の杜2階大会議室
「上杉本洛中洛外図屏風とその読み方」
黒田日出男氏(立正大学文学部教授・群馬県立歴史博物館館長)

□ギャラリートーク

10月8日(土)・10月22日(土)・11月3日(木・祝)14:00～15:00



印刷物

図 録 A 4判136頁

ポスター B 2判

チラシ A 4判

構 成

- 第1部 洛中洛外図屏風
- 第2部 洛中洛外図屏風の世界
 - 第1章 洛中洛外図を残した人々
 - 第2章 武家の備え
 - 第3章 華麗な嫁入り
 - 第4章 雅な暮らし

展示資料

No.	指定	資料名	法量 (cm)	員数	所蔵
第1部 洛中洛外図屏風					
1	国宝	洛中洛外図屏風 (上杉本)	各隻160.4×365.2	6曲1双	米沢市上杉博物館
2	重文	洛中洛外図屏風 (舟木本)	各隻160.3×54.5(1・6扇)	6曲1双	東京国立博物館
			各隻160.3×58.5(2～5扇)		
3	重文	洛中洛外図屏風 (林原本)	各隻159.1×362.9	6曲1双	林原美術館
4		洛中洛外図屏風 (岐阜歴博本)	各隻155.0×353.0	6曲1双	岐阜市歴史博物館
5		洛中洛外図 (東博模本)	各幅160.5×62.0	11幅	東京国立博物館
6		洛中洛外図屏風 (東博模本復元模写)	各隻160.0×360.0	6曲1双	東京大学史料編纂所
第2部 洛中洛外図屏風の世界					
第1章 洛中洛外図を残した人々					
7	国宝	(天文19年) 2月28日足利義輝御内書	20.1×50.4	1通	米沢市上杉博物館

No.	指定	資料名	法量 (cm)	員数	所蔵
8	国宝	(永禄2年) 6月26日足利義輝御内書	19.9×50.8	1通	米沢市上杉博物館
9	国宝	(永禄2年) 6月26日足利義輝御内書	20.0×50.7	1通	米沢市上杉博物館
10	国宝	(永禄2年) 6月12日足利義輝御内書	35.5×101.5	1通	米沢市上杉博物館
11	国宝	(永禄8年) 3月23日足利義輝御内書	19.6×52.3	1通	米沢市上杉博物館
12	国宝	(永禄7年) 11月7日織田信長書状	17.7×49.5	1通	米沢市上杉博物館
13	国宝	(天正2年カ) 9月11日織田信長書状	17.8×49.0	1通	米沢市上杉博物館
14		(天正2年) 7月1日武井夕庵書状	17.3×48.5	1通	米沢市上杉博物館
15		毛氈鞍覆		1領	上杉神社
16		黒塗泊蝶紋蒔絵馬槽	縦61.4×横73.2×高44.8	1背	林原美術館
17	重文	綾杉獅子牡丹蒔絵婚礼調度の内大角赤手箱	縦38.0×横31.2×高25.4	1合	林原美術館
18		梨子地泊蝶紋蒔絵懸盤・本膳・椀	懸盤 縦41.5×横41.5×高22.0	1式	林原美術館
第2章 武家の備え					
19		太刀 無銘(号山鳥毛一文字)[複製]	長さ80.9 反3.2	1振	林原美術館
20	重文	太刀 銘一(号姫鶴一文字)附 黒漆合口打刀拵	長71.5 反2.0	1振	米沢市上杉博物館
21	重美	太刀 銘長船長光文永十一年十月廿五日附 黒漆塗打刀拵	長73.6 反2.8	1振	米沢市上杉博物館
22		祇園守藤紋蒔絵刀掛	縦19.0×横47.5×高24.5	1基	林原美術館
23		金梨子地龍竹雀紋蒔絵刀筒	長さ122.0×最大径11.2	1口	米沢市上杉博物館
24		矢短冊函三所物	小柄9.5×1.4 筭21.1×1.2 目貫1.1×4.4	1組	林原美術館
25		七福神図鐔	8.9×8.9	1枚	林原美術館
26		賀茂のみあれ図鐔	大7.4×6.9 小6.7×6.2	2枚	林原美術館
27		黒塗泊蝶紋螺鈿矢筒	長さ101.2 径9.8	1口	林原美術館
28		泊蝶紋銀覆輪鞍	縦38.5×横39.0×高26.5	1具	林原美術館
29		泊蝶紋銀覆輪鐙	縦28.5×横11.7×高25.3		林原美術館
第3章 華麗な嫁入り					
30		竹菱葵紋蒔絵黒棚飾		1式	林原美術館
		黒棚	縦39.9×横76.2×高68.3	1基	林原美術館
		小角赤手箱	縦27.1×横22.4×高16.9	1合	林原美術館
		櫛箱	館22.1×横18.1×高17.4	1合	林原美術館
		昆布箱	館13.9×横13.9×高6.6	1合	林原美術館
		元結箱	縦24.4×横21.4×高17.2	1合	林原美術館
		渡金箱	縦37.2×横10.2×高9.6	1合	林原美術館
		水引箱	縦37.3×横11.4×高8.9	1合	林原美術館
		乱箱	縦35.0×横27.5×高8.5	1合	林原美術館
第4章 雅な暮らし					
31		段片身替り雪持ち芭蕉文様繡箱	丈146.8 桁62.0	1領	林原美術館
32		白綸子菊立涌に藤葵紋様打掛	丈171.9 桁61.6	1領	林原美術館
33		流水水草蒔絵提重	縦20.2×横31.5×高33.1	1具	林原美術館
34		紫陽花蒔絵煙草盆	縦15.1×横24.6×高21.8	1具	林原美術館
35		初音蒔絵文台	縦37.3×横62.7×高9.9	1具	林原美術館
36		初音蒔絵硯箱	縦27.0×横22.2×高4.6		林原美術館
37		山水蒔絵硯箱	縦25.8×横21.2×高4.8	1具	林原美術館
38		山水蒔絵料紙箱	縦42.4×横31.8×高11.4		林原美術館
39		貝合蒔絵櫛	幅13.6×高6.3×厚0.3	1枚	林原美術館
40		吉祥紋蒔絵鼈甲櫛	幅12.6×高7.2×厚0.4	1枚	林原美術館
41		梅透彫紅象牙櫛	幅14.2×高6.1×厚0.55	1枚	林原美術館
42		紺糸威腹巻(上杉治憲所用)	胴高27.5 鉢高20.5	1領	米沢市上杉博物館
43	国宝	『歴代年譜 治憲公』巻16 天明元年3月4日条	27.0×18.3	1冊	米沢市上杉博物館
44		勝山家資料の内 碁盤・碁筭	碁盤 面41.0×44.5 高27.3 碁筭 径13.0×10.0	1具	群馬県立歴史博物館
45		松竹梅鶴亀葵紋蒔絵貝桶	径42.3 高53.2	1対	米沢市上杉博物館
46		勝山家資料の内 貝桶	径35.0 高48.0	1個	群馬県立歴史博物館
47		橘松竹葵紋蒔絵挟箱	縦44.4×横63.9×高39.0	1合	米沢市上杉博物館
48		橘松竹葵紋蒔絵茶筭筒	縦24.4×横42.4×高39.5	1基	米沢市上杉博物館
49		橘松竹南天葵紋鏡	径48.2	1面	米沢市上杉博物館
50		橘松竹南天葵紋鏡箱	径51.8	1合	米沢市上杉博物館
51		橘松竹南天葵紋鏡建	高98.5	1基	米沢市上杉博物館
52		橘松竹葵紋蒔絵香道具	香盆 22.7×32.9	1式	米沢市上杉博物館

(5) 開館10周年記念企画展「本間国雄展 —旅に生きる—」

会 期 ■平成23年11月12日（土）～平成24年1月15日（日）
 会 場 ■企画展示室（100%使用）
 開催日数 ■54日間
 主 催 ■米沢市上杉博物館



内 容

米沢生まれの画家本間国雄（号：国生・逸老庵 1889～1973）は米沢藩のお抱え能役者の家に生まれるが、画家を志し、白馬会に洋画家として出品する。のちに岸田劉生、萬鉄五郎らのヒュウザン会の結成に参加するなど、中央美術界を舞台として活動した。その後、岡本一平（岡本太郎の父）、北沢楽天らと東京漫画社を興し、雑誌『漫画』を主宰するなど、多様な活動を行っている。東京日日新聞（現毎日新聞）で美術記者・画家として活躍したのち、「逸老庵」の号をもって日本画家へ転向し、水墨の画風に独自の表現を見出した。

本展覧会では、本間国雄の多様な仕事の中から、館蔵の「水墨日本風物抄」(全62図)を中心に紹介した。また、本間の兄で英文学者であり、美術にも造詣が深く、国雄にとって最大の理解者であった本間久雄との関係にも触れ、冬季間という開催時期も踏まえ、館蔵品の活用と先人の紹介に重点を置いた。

入 館 料 一般200（160）円 高大生100（80）円 小中生50（40）円

入館者数 4,388人

展示資料 84 点

関連事業 ■ギャラリートーク 11月12日（土）・11月26日（土）14：00～
ワークショップ（教育普及事業頁で報告）

構 成

- I 本間国雄の生立ちと初期の活動
- II 水墨画の世界へ
- III 美の理解者 兄 本間久雄



印刷物
 ポスター B 2判
 チラシ A 4判
 図 録 B 5判 48頁

展示資料

No.	資料名	法量	制作年等	作者	員数	技法等	所蔵
1	『文章世界』 9巻8号		大正3年		一冊	刊行本	当館蔵
2	『文章世界』 10巻4号		大正4年		一冊	刊行本	当館蔵
3	『文章世界』 10巻10号		大正4年		一冊	刊行本	当館蔵
4	『文章世界』 10巻12号		大正4年		一冊	刊行本	当館蔵
5	『東京の印象』		大正3年	本間国雄	一冊	刊行本	当館蔵
6	『逸老庵画集（第一）』		昭和16年	本間国雄(国生)	一冊	刊行本	個人蔵
7	『朝鮮画観』		昭和16年	本間国雄(国生)	一冊	刊行本	個人蔵
8	『満洲画観』		昭和18年	本間国雄(国生)	一冊	刊行本	個人蔵
9	水墨日本風物抄 題辞	30.0×17.8	昭和41年頃	本間久雄	一面	紙本	当館蔵
10	水墨日本風物抄 第1図 千古の雪	33.5×39.2	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画着色	当館蔵
11	水墨日本風物抄 第2図 皇居と夏雲	43.9×51.2	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
12	水墨日本風物抄 第3図 雨後の山	51.9×55.7	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
13	水墨日本風物抄 第4図 月寒の朝	46.3×57	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
14	水墨日本風物抄 第5図 吉野の春	29.9×37.6	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
15	水墨日本風物抄 第6図 朝霧	46.3×56.9	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
16	水墨日本風物抄 第7図 関門海峡	32.5×58.2	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
17	水墨日本風物抄 第8図 大阪城大手	38.3×44.5	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
18	水墨日本風物抄 第9図 清水寺	44.4×51.6	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
19	水墨日本風物抄 第10図 長良川夜雨	46.0×57.1	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
20	水墨日本風物抄 第11図 雪の日	51.5×57.1	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
21	水墨日本風物抄 第12図 摩周湖	46.2×57.1	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
22	水墨日本風物抄 第13図 雪の松島	34.4×44.1	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
23	水墨日本風物抄 第14図 朝霜	45.6×56.5	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
24	水墨日本風物抄 第15図 鶴のいる男鹿半島	37.2×44.7	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵

No.	資料名	法量	制作年等	作者	員数	技法等	所蔵
25	水墨日本風物抄 第16図 阿蘇	22.2×47.0	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
26	水墨日本風物抄 第17図 耶馬溪羅漢寺	45.8×38.4	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
27	水墨日本風物抄 第18図 だんだん畑宇和島にて	46.4×56.7	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
28	水墨日本風物抄 第19図 北の海	46.5×57.0	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
29	水墨日本風物抄 第20図 麦を焼く佐賀所見	37×44.6	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
30	水墨日本風物抄 第21図 富士太鼓(能楽)	53.6×37.6	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
31	水墨日本風物抄 第22図 勸進帳(歌舞伎)	52.7×34.7	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
32	水墨日本風物抄 第23図 銀閣浮石	36.9×44.8	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
33	水墨日本風物抄 第24図 若草山	46.2×56.5	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
34	水墨日本風物抄 第25図 九十九島漁火	46.2×57.1	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
35	水墨日本風物抄 第26図 瀨八丁	37.0×44.9	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
36	水墨日本風物抄 第27図 鳴門	51.7×57.5	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
37	水墨日本風物抄 第28図 霧島	45.7×55.6	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
38	水墨日本風物抄 第29図 足摺岬	45×56.2	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
39	水墨日本風物抄 第30図 那智と華巖	65.3×34.6	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
40		65.5×34.6	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
41	水墨日本風物抄 第31図 冬山	46.2×56.8	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
42	水墨日本風物抄 第32図 洞爺湖	51.7×56.9	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
43	水墨日本風物抄 第33図 日向五ヶ瀬川	37.2×44.7	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
44	水墨日本風物抄 第34図 上野夜桜	37.2×44.9	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
45	水墨日本風物抄 第35図 福良村と磐梯	36.8×44.8	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
46	水墨日本風物抄 第36図 巖島	52.9×57.8	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
47	水墨日本風物抄 第37図 雨の門司港	50.9×57.5	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
48	水墨日本風物抄 第38図 会津沼沢沼	51.4×56.8	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
49	水墨日本風物抄 第39図 立山雪溪	51.3×57.3	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
50	水墨日本風物抄 第40図 層雲峡羽衣の滝	31.6×34.7	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
51	水墨日本風物抄 第41図 大雪山朝日岳	44.8×51.8	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
52	水墨日本風物抄 第42図 笹野こけし	31.3×40.6	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
53	水墨日本風物抄 第43図 高野の朝	45.1×53.7	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
54	水墨日本風物抄 第44図 伊勢の海女	36.9×44.7	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
55	水墨日本風物抄 第45図 浅間山	37.1×44.7	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
56	水墨日本風物抄 第46図 越後の水田	45.4×56.3	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
57	水墨日本風物抄 第47図 函館トラピスト	36.7×44.2	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
58	水墨日本風物抄 第48図 高千穂天の真名井	45.1×52.6	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
59	水墨日本風物抄 第49図 多摩川の朝	50.9×58.2	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
60	水墨日本風物抄 第50図 福島の桃	30.4×37.9	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
61	水墨日本風物抄 第51図 玉川地下仏殿	37.5×42.8	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
62	水墨日本風物抄 第52図 鳥取砂丘	51.1×56.0	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
63	水墨日本風物抄 第53図 道後温泉	37.4×45.6	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
64	水墨日本風物抄 第54図 五月雨	51.2×58.2	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
65	水墨日本風物抄 第55図 高千穂峡七ツ瀧	37.1×44.6	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
66	水墨日本風物抄 第56図 十和田湖	40.9×50.9	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
67	水墨日本風物抄 第57図 鎌倉大仏	37.5×44.7	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画	当館蔵
68	水墨日本風物抄 第58図 瀬戸内海	37.3×44.8	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
69	水墨日本風物抄 第59図 鴨川友禅さらし	40.3×45.1	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
70	水墨日本風物抄 第60図 眼鏡橋長崎にて	46.4×54.0	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
71	水墨日本風物抄 第61図 蜆採る舟琵琶湖所見	37.6×44.7	昭和30年代	本間国雄(国生)	一面	紙本墨画淡彩	当館蔵
72	雨後の山	60×72.5	制作年未詳	本間国雄(国生)	一幅	紙本墨画	当館蔵
73	深山の残雪	41.7×129.3	制作年未詳	本間国雄(国生)	一幅	紙本着色	当館蔵
74	湖畔暮雪	45.5×56.0	制作年未詳	本間国雄(国生)	一幅	紙本墨画淡彩	当館蔵
75	吾山欲雨	44.5×51.0	制作年未詳	本間国雄(国生)	一幅	紙本墨画	当館蔵
76	富士山図	120.7×52.7	制作年未詳	本間国雄(国生)	一幅	紙本墨画	当館蔵
77	端溪硯(本間国雄愛用品)	22.0×17.2					当館蔵
78	端溪硯付硯箱(本間国雄愛用品)	17.0×11.3					当館蔵
79	唐墨程君房製(本間国雄愛用品)	9.5×5.0					当館蔵
80	唐墨魯按国製(本間国雄愛用品)	16.0×9.0					当館蔵
81	「逸老庵」書						個人蔵
82	本間国雄肖像画	27.0×24.0	制作年未詳	佐竹泰次郎	色紙		当館蔵
83	寂しき樹木	112.6×40.5	制作年未詳	竹久夢二	一幅		当館蔵
84	<県指定文化財> 近江八景 金沢八景	各隻190×364	明治10年(1877)	菅原白龍	六曲一双		個人寄託

(6) 開館10周年記念企画展「米沢ゆかりの刀剣 ～よみがえる赤羽刀～」

会 期 ■平成24年1月28日(土)～3月4日(日)
 会 場 ■企画展示室(100%使用)
 開催日数 ■32日間
 主 催 ■米沢市上杉博物館
 協 力 ■財団法人 日本美術刀剣保存協会(刀剣博物館)



内 容

昭和20年(1945)8月、太平洋戦争の終結により、連合国占領軍は日本の武装解除の一環として、国内の刀剣類を接収した。この内、多くは廃棄、もしくは海外へ流出したが、接収された一部が赤羽(現東京都北区)にあったアメリカ第8軍兵器補給廠に集積された。2年後の昭和22年、当時の刀剣関係者の尽力により、この中から美術的価値のある刀剣については返還されることになり、約5,500本余が選別され、東京国立博物館に移転された。これらの刀剣類は接収時の保管場所にちなみ「赤羽刀」と総称されている。その後、所有者が判明した一部については返還されたが、大多数は最近に至るまで東京国立博物館の収蔵庫に眠ったままだった。

終戦50年に当たる平成7年(1995)、議員立法により「接収刀剣類の処理に関する法律」が成立し、文化庁ではこの法を受けて、旧所有者が判明した刀剣類については返還し、残りの赤羽刀については一旦、国庫に帰した後、全国の公立の博物館等へ無償譲与し、活用・公開されることとなった。当館では、郷土刀の加藤系、赤間系を中心に37口の譲与を受け、平成12年から随時修復を行ってきた。無銘のものを除き、20口の修復を終えたことから、そのお披露目をするとともに、館蔵の刀剣、古文書、古記録などを加え、米沢の刀鍛冶系譜をたどるとともに新々刀の歴史を紹介する。

入館料 一般400(320)円 高大生300(240)円 小中生200(160)円

入館者数 2,526人

展示資料 54点 ※途中一部展示替

関連事業 □オープニングギャラリートーク

1月28日(土)14:00～ 米沢市文化課長 村野隆男氏

構 成 ■赤羽刀とは

■赤羽刀修復の記録

I 米沢の刀鍛冶 加藤家／古山家／赤間家／尾形家／石黒家／片倉家／小林家

II 新々刀の歴史 水心子正秀／大慶直胤／月山 など

III 日本刀への理解を深めるために

■日本刀のできるまで-一刀・大解剖-

■日本刀の魅力とは



印刷物

ポスター B2判
 チラシ A4判
 図 録 A4判
 約96ページ

展示資料

指定認定	種別	銘文	所蔵	年代	刃長	反	目釘穴	莖尻
※○印は赤羽刀 ※所蔵の記載ないものは当館蔵								
【加藤家】								
1	○ 刀	国秀／享和二年八月日		1802	71.4	1.6	2	入山
2	刀	於東都 加藤越後頭国秀／文化八年八月吉日		1811	64	2.7	1	入山
3	刀	国綱／享和元年八月日		1801	72.7	1.8	1	栗
4	○ 脇指	加藤助太郎綱英 父国秀彫／文化五年四月		1808	38.2	0.8	1	栗
5	○ 刀	加藤綱英於東都作之／文化七庚午年五月日		1810	70.5	1.6	1	入山
6	刀	於東都麻布米沢臣加藤綱英造之／鍛者家之法相者米山先生之直伝子孫繁榮無難長壽諸人愛敬之吉則劍世大竹氏依好諺籤之		江戸時代後期	64	2.7	1	入山
7	○ 短刀	万才綱俊造／文政五年四月日		1822	25.2	0.2	1	入山
8	○ 脇指	加藤長運齋綱俊／文政十一年八月日		1827	50.5	1.3	1	入山
9	太刀	奉納 延貞経 羽州米澤臣加藤宝壽造之／同性長運齋綱俊造之 天保二年四月吉日		1831	92.5	3.4	1	刃上栗
10	○ 脇指	出羽国米沢士綱俊／於東都麻布造之 天保二年十月四日		1831	51.2	1.3	1	入山
11	○ 刀	於東都加藤綱俊造／天保五年八月吉日		1894	70	1.7	1	浅い刃上
12	○ 脇指	加藤綱俊／天保九年八月日		1838	48.8	1.4	1	入山
13	米沢市指定文化財	刀 於江府長運齋綱俊作之／嘉永元年十月吉日同年廿三日太々壇拂		1848	73	2.6	1	刃上栗
14	米沢市指定文化財	脇指 於江府長運齋綱俊作之／嘉永元年月日		1848	50.4	1.4	1	刃上栗
15	刀	於東都加藤綱俊作之／嘉永四年八月日運寿は一淬之		1850	70.9	1.4	1	刃上栗

※所蔵の記載ないものは当館蔵

指定認定	種別	銘文	所蔵	年代	刃長	反	目釘穴	莖尻
16		脇指 於江府長運齋綱俊／嘉永四年八月日		1850	51.8	1.3	1	刃上栗
17	○	刀 於江府長運齋綱俊／坂寄歡喜所持		江戸時代後期	69.8	2.1	1	刃上栗
18	○	脇指 長運齋綱俊／子孫栄久		江戸時代後期	35.2	0.8	2	入山
19	○	刀 綱俊／是俊焼		江戸時代後期	69.1	1.6	1	刃上栗
20		鏡 加藤綱俊 是俊造之／安政六年三月吉日		1859	69.8	2.1	1	刃上栗
21		刀 於江府長運齋綱俊／文久三年二月吉日長運齋是俊		1863	69.1	1.8	1	入山
22		短刀 長運齋是俊／文久三亥八月日		1863	26.8	0.2	1	栗
23		短刀 長運齋綱俊造之／慶応元年十月日		1925	28.1	0.2	1	栗
24		刀 為村重君 石堂運寿是一精鍛造之／嘉永七年甲寅歳二月日		1854	71.1	2	1	刃上栗
25	重要刀剣	太刀 石堂運寿是一精鍛造之 安政二年乙卯歳二月日 附黒蠟色塗鞘丸の内州浜紋拵 (玉木宗七郎研)	個人	1855	72.4	1	1	刃上栗
26	重要刀剣	脇指 石堂運寿是一精鍛造之 安政二年二月日 附黒蠟色塗鞘丸の内州浜紋拵	個人	1855	39.4	0.6	1	刃上栗
27		刀 羽州米沢住義英		江戸時代後期	70	2.6	1	栗
28		刀 出羽住義正作		江戸時代後期	72	1.1	1	入山
29	○	刀 羽州米沢住義国作／安政二年十月日		1855	71.4	1.9	1	入山
30	【古山家】	槍 米澤臣源正利於三春作之／文化六年八月		1809	24.2		2	栗
31	○	刀 羽州米沢住赤間綱信／文化十四年五月日 於東都鍛之		1817	68.6	2.8	1	入山
32	○	脇指 米沢住赤間綱信／文政五年二月日		1882	52.6	1.7	1	入山
33	○	刀 羽州米沢住赤間綱信／弘化四年十二月吉日 嫡子同姓源直信		1847	69	2.2	1	入山
34	○	刀 米沢住直信作／嘉永三年九月日		1850	69.9	2.5	1	劍
35	○	刀 米沢住宗昌造之／天保十一年八月日		1840	69.2	2	1	栗
36	脇指	羽州住行房	山形大学付属博物館	江戸時代後期	34.2	0.6	1	刃上栗
37	○	刀 羽州米沢住綱倫／嘉永六年二月吉日		1853	69.6	1.6	1	入山
38		刀 羽州米沢住石黒綱倫		江戸時代後期	69.6	2.2	1	入山
39	○	刀 羽州米沢住片倉正時作／明治二年八月		1869	71	1	1	栗
40	脇指	羽前米澤住高弘 附杖仕込鑰単金涅柄糸浅黄塗鮫	宮坂考古館		33	1.3	1	栗
41	○	刀 水心子正秀／寛政三年八月日	最上義光歴史館	1791	75.6	1.6	1	刃上栗
42	刀	水心子正秀 出石刑閃々光芒如花／二腰両腕一割若瓜	(財)日本美術刀剣保存協会	江戸時代後期	69.4	1.4	1	栗
43	短刀	備前介宗次／弘化三年八月日 贈一乘法橋 附桜皮笛巻塗鞘腰刀拵(後藤一乗一作金具)	(財)日本美術刀剣保存協会	1846	31	0	1	入山
44	県指定文化財	脇指 天保五年仲秋直胤(花押)／松岡直惇所蔵 巨勢金剛因 附 朱蠟色塗合口拵	個人	1834	43.9	1.4	2	栗
45	○	薙刀 莊司美濃介藤原直胤(花押)／嘉永二年二月日(刻印)	最上義光歴史館	1849	55.2	1.4	1	栗
46	短刀	源秀寿／天保五年仲冬 為寿齊主人作之	(財)日本美術刀剣保存協会	1834	23	0	1	栗
47	県指定文化財	刀 羽州大泉住豊前守藤原清人／明治三年八月日	致道博物館	1870	68.2	1.4	1	栗
48		水心子正秀翁肖像	(財)日本美術刀剣保存協会		1811			
49		水心子正秀門人帳	(財)日本美術刀剣保存協会		1817			
50		『新刀銘盡』(享保六年) 全六年	(財)日本美術刀剣保存協会		1721			
51		『新刀銘盡後集』(享保二十年) 全六冊	(財)日本美術刀剣保存協会		1735			
52		『慶長以來新刀弁疑』(安永八年) 全八冊	(財)日本美術刀剣保存協会		1779			
53		『新刀賞鑑余録』(天明二年) 全五冊	(財)日本美術刀剣保存協会		1782			
54		『刀剣実用論』(文化八年) 全二冊	(財)日本美術刀剣保存協会		1811			
55		『刀剣武用論』(文化八年) 全二冊	(財)日本美術刀剣保存協会		1811			
56		『刀剣弁疑』(文政元年か)	(財)日本美術刀剣保存協会		1818か			
57		『劍工秘伝志』(安政六年) 全三冊	(財)日本美術刀剣保存協会		1859			
58		『鍛錬玉函』(文化元年か) 全一冊	(財)日本美術刀剣保存協会		1804か			
資-⑤		『刀鍛冶秘傳』(小林家)	個人		江戸時代			
資-⑥		『銘劍録』(小林家)	個人		江戸時代			
59		寛政五年 分限帳 下	市立米沢図書館	1793				
60		寛政九年 分限帳 下(上杉文書960)		1797				
61		享和三年 分限帳 下	市立米沢図書館	1803				
62		文化六年 分限帳 下		1809				
63		文政四年 分限帳 下	市立米沢図書館	1821				
64		天保三年 分限帳 下	市立米沢図書館	1832				
65		天保十二年 分限帳 中・下	市立米沢図書館	1841				
66		嘉永二年 分限帳 中	市立米沢図書館	1849				
67		嘉永二年 分限帳 下						
68		慶応元年 分限帳 下(上杉文書963)		1865				
69		明治二年 分限帳 上(上杉文書964)		1869				
資-④		弘化三年町方民数帳(免許町・東町・鉄砲屋町)	市立米沢図書館	1846				
資-③		文化八年町家十六町合絵図(免許町・東町・鉄砲屋町・鍛冶町)	市立米沢図書館	1811				
資-①		刀之注文書	個人					
資-②		天明六年十一月 書付以願奉候事	個人	1786				
1	参考資料	作刀工程資料	個人					
1	参考資料	刀剣研磨工程資料	個人					

(7) 「追悼 特別展示 米沢が生んだ日本画の巨星 遠藤桑珠と福王寺法林」

会 期 ■平成24年3月10日(土)～4月8日(日)
 会 場 ■企画展示室(100%使用)
 開催日数 ■30日間
 主 催 ■米沢市上杉博物館



内 容

米沢出身の日本画家 遠藤桑珠氏は、平成23年12月26日に94歳で逝去された。また、同じく院展の巨匠福王寺法林氏が平成24年2月21日に逝去され、米沢市は日本画壇の屋台骨を背負ってきた二人を相次いで失った。

遠藤氏は上郷、福王寺氏は、矢来町に生まれ、それぞれ十代で画家を志し、亡くなるまでの約80年間、画道一筋に突き進んだ。遠藤氏は日展、福王寺氏は院展と所属は異なるが、その偉大な足跡は現代の日本美術史においても重要なものとなっている。

当館では、両氏存命中には、作品の寄贈、展覧会への協力など常に配慮いただき、指導を仰いできたところでもある。また、アートコレクションとして遠藤氏作品86点、福王寺作品21点を所蔵しており、二人の逝去に際し、代表作を展示し、その画業を振り返り、人柄をしのぶとともに、作画への力強い姿勢を紹介し、市民が二人の作品のすばらしさを再認識する契機とした。

入 館 料 無料
 入館者数 4,477人
 関連事業 メディア向け展示概要説明会
 平成24年3月10日(土) 9:00～9:30



印刷物
 ポスター B2判
 (自館作成)
 チラシ A4判

展示資料

No.	作品名	時代	法量(cm)	員数	所蔵	出品歴
遠藤桑珠	1 谷地小路風景	1950(昭和25)	144×220	一面	米沢市上杉博物館	第6回旧日展特選
	2 草原驟雨	1968(昭和43)	89.0×128.5	一面	米沢市上杉博物館	ヨーロッパ展(個展)
	3 最上川雨後	1971(昭和46)	72.5×116.5	一面	米沢市上杉博物館	山と河展(個展)
	4 春堤(舟)	1987(昭和62)	100.0×72.8	一面	米沢市上杉博物館	
	5 菜の花と海	1992(平成4)	170.7×220.7	一面	米沢市上杉博物館	(改組)第24回日展
	6 蔵王火口	1993(平成5)	220.0×170.0	一面	米沢市上杉博物館	(改組)第25回日展
	7 里郷の山(斜平山)	1987(昭和62)	175.5×348.0	六曲一隻	米沢市上杉博物館	雪の国展(個展)
15 小品	制作年未詳		12枚	米沢市上杉博物館		
福王寺法林	8 ヒマラヤの朝	1977(昭和52)	200×400	一面	米沢市上杉博物館	再興第62回院展
	9 火山島	1972(昭和47)	72.7×53	一面	米沢市上杉博物館	第27回春の院展
	10 置賜文化ホール 能舞台鏡板原画	2001(平成13)	129×44	一面	米沢市上杉博物館	
	11 白月のヒマラヤ	制作年未詳	174.0×442.0	一面	寄託	
	12 ヒマラヤの月	2004(平成16)	65.4×93.3	一面	米沢市上杉博物館	
	13 春暮	昭和26年頃	165×215	一面	米沢市上杉博物館	
	14 高砂族の舞	1972(昭和47)	182×382	六曲一隻	米沢市上杉博物館	再興第57回院展

2 教育普及

目 的

地域の住民(子どもたちも含めた)が地域の自然や文化を正しく理解し、それを継承していくための契機となるようにしていく。歴史や美術をとおして、子どもたちが広い視野で将来を見据えられるような展示や体験学習を提供し出版物の制作を行う。これらの活動を積み重ねていくことにより、館の社会的認知度を高めていき、その結果として、住民が博物館(地域のシンボル)をつくっていく一員であるという認識を持つことができ、共に成長していくものとする。

(1) ワークショップ

子どもにも大人にも、目でみるだけではなく、五感を用いた体験を伴う活動の場を提供した。

企画展の関連事業や連続ワークショップも含め、19のプログラムを実施。博物館ならではの収蔵品を用いた美術鑑賞、手技・手仕事、地域の作家を講師に迎えての造形講座などを開催した。本年は3本の「ナイトツアー」を実施し、夜の展示室でじっくり展覧会を鑑賞していただく内容が好評であった。

募集制ワークショップ

■誰も知らない博物館

開催日時 5月15日(日) 13:30~ 対象・定員 小学生親子15組
参加人数 6名
内 容 収蔵庫など博物館のバックヤードをオリエンテーリング形式で見学。



■親子でいつでも晴れの傘をつくろう!

開催日時 5月29日(日) 13:30~ 対象・定員 小学生親子20組
参加人数 9名
内 容 透明ビニール傘にカラーフィルムでオリジナルの飾り付けを体験。



■ナイトツアー サントリー美術館のコレクションを味わう

開催日時 7月8日(金) 19:00~ 対象・定員 高校生以上20名
参加人数 19名
内 容 夜の博物館でスライドを用いながら展覧会をじっくり鑑賞。

■型絵染入門 ~手すき和紙のテーマット~ 講師:土手武彦氏 土手千鶴子氏

開催日時 7月17日(日) 10:00 対象・定員 高校生以上20名
参加人数 17名
内 容 和紙への合羽摺り、麻布への糊置きから色差し等の行程を体験。



■回想法 ~記憶の引き出し~

講師:北名古屋歴史民俗資料館 館長 市橋芳則氏

開催日時 7月28日(木) 14:00~
対象・定員 一般、福祉施設に勤務の方30名
参加人数 18名
内 容 昭和をテーマとした展覧会と関連付け、記憶を蘇らせることで脳を活性化させる「回想法」について講演して頂いた。福祉施設の方を中心に好評を得た。

■海のモビールをつくろう

開催日時 8月5日(金) 10:00~ 対象・定員 小学生20名
参加人数 19名
内 容 北欧のインテリア・モビールをカラフルな模造紙と型紙を用いて制作。



■ミニチュアをつくろう ~冷たいスイーツ~

開催日時 8月5日(金) 13:30~ 対象・定員 小学生20名
参加人数 18名
内 容 樹脂粘土やホイップ粘土を用い、本物そっくりの造形を目指した。

■Myはしづくり～木の香りとぬくもりを感じよう～ 講師：杉山明博氏

開催日時 8月7日（日）10：00～ 対象・定員 小学生20名

参加人数 23名

内 容 木の削り出しを体験し、自分の手になじむ世界に一つだけの箸を製作。



■楽しい水彩画 協力：緑光会 講師：清水恵子氏

開催日時 8月9日（火）9：00～ 対象・定員 小学生以上20名

参加人数 15名

内 容 水彩絵具の特性を生かし、果物、野菜、花などのモチーフをとらえることに挑戦。

■織物に挑戦！ ～ミニテーブルセンター～

開催日時 8月11日（木）13：30～ 対象・定員 小学生20名

参加人数 16名

内 容 一本の糸が面になっていく織の工程を体験しながら実用的なテーブルセンターへ。

■昭和のまちへタイムトリップ

開催日時 9月4日（土）10：00～ 対象・定員 高校生以上20名

参加人数 6名

内 容 高島町の昭和縁結び商店街を散策しながらその時代を体感。



■包むころろろしき

開催日時 9月9日（金）19：00～ 対象・定員 高校生以上20名

参加人数 4名

内 容 風呂敷の歴史を学びつつ、現代の日常の様々な所で応用できる技を紹介。

■能狂言のおもしろさ 面のひみつ 講師：石原良子氏 奥津健太郎氏

開催日時 9月10日（金）13：30 対象・定員 高校生以上20名

参加人数 3名

内 容 プロの面打ち師、能楽師面打ちの行程や面の鑑賞のポイント、着け方などを体験を交えて紹介して頂き能への理解を深めた。



■刺子入門 講師：遠藤きよ子氏

開催日時 9月17日（土）10：00～ 対象・定員 高校生以上20名

参加人数 10名

内 容 機能を装飾を併せ持った手仕事を手軽に体験。郷土の原方刺子についても学ぶ。

■洛中洛外図を楽しむ

開催日時 10月14日（金）19：00～ 対象・定員 高校生以上20名

参加人数 20名

内 容 夜の展示室で国宝「上杉本洛中洛外図屏風」をじっくり鑑賞。



■洛中洛外図扇子をつくる

開催日時 10月29日（土）10：00～ 対象・定員 小中学生20名

参加人数 1名

内 容 自分で着彩した洛中洛外図を扇子に仕立て、その構造も学ぶ。



■香るころろ 香道 講師：お香を楽しむ会

開催日時 10月30日（日）10：00～ 対象・定員 高校生以上20名

参加人数 19名

内 容 数種類の香木の香りをかぎ分ける聞香に挑戦。

■ナイトツアー 本間国雄の世界

開催日時 12月9日(金) 19:00~ 対象・定員 高校生以上20名

参加人数 8名

内 容 夜の展示室でじっくり美術鑑賞。水墨画の技法や作家の制作背景について参加者同士で意見を交換し、鑑賞を深めた。

■ナイトツアー 刀剣の魅力に迫る 講師：米沢市教育委員会文化課長 村野隆男氏

開催日時 2月10日(金) 19:00~ 対象・定員 高校生以上20名

参加人数 23名

内 容 日本刀の歴史、作り方、見方を総合的に学び、刀への興味関心を深めた。

◆連続ワークショップ きみもチルドレンキュレーターズ7 小学校4年生~高校1年生 10名

7年目に入った今年は今までに経験してきた学芸員の仕事の内容を復習しながら技術を向上させることに重点を置いた。

座の文化伝承館・蔵の「河童洞コレクション」や企画展「よみがえる赤羽刀」では展示準備の一部にも携わり、学芸員のより深い仕事を体験した。

5月15日(日) 顔合わせ/ワークショップ「誰も知らない博物館」スタッフ

6月4日(土)・8月4日(木) 学芸員仕事復習(収蔵庫整理)

8月18日(木) 蔵「河童洞コレクション」展示準備

9月4日(日) アウトリーチ「昭和の町へタイムトリップ」

10月10日(水) 蔵「河童洞コレクション」展示作業

11月26日(月・祝) 学芸員仕事(分限帳調査)

1月14日(土) 学芸員仕事(分限帳調査)

2月18日(日) プレイショップ準備(紙粘土で和菓子づくり準備)

3月10日(土) 展覧会監視業務(「追悼特別展示 遠藤桑珠と福王寺法林」)

3月29日(水) 今年度まとめ

自由参加制ワークショップ

申込や参加費が不要の自由参加制ワークショップは、気軽に参加して頂けるような雰囲気作りを心掛けた。地域の来館者はもちろん、通りすがりの観光客などもその土地の風土や、民俗を感じて頂けるようなプログラムを開催。

■笹まきをつくろう

開催日時 6月25日(土)

参加人数 33名

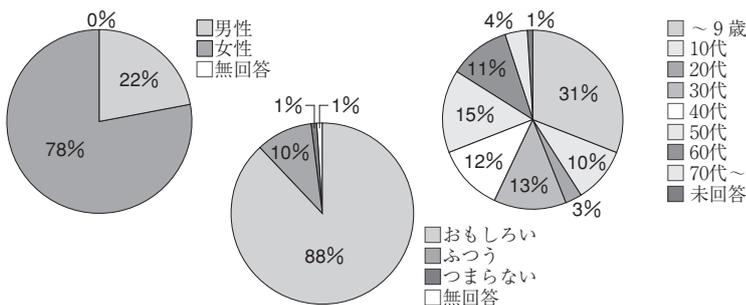
内 容 開館以来毎年継続のプログラム。郷土の保存食「笹まき」の作り方を体験し、笹の効用や「包む」という工夫と技についても触れた。

■むかしむかしを聞こう 協力：米沢とんと昔の会

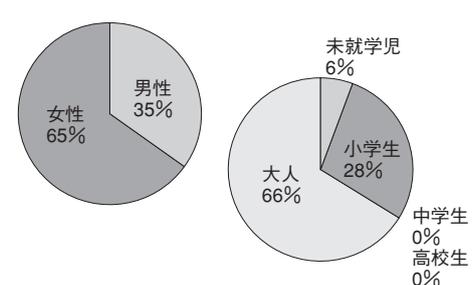
開催日時 ①7月7日(土) ②7月23日(土) ③8月27日(土) ④9月24日(土) ⑤10月16日(土)

内 容 米沢とんと昔の会の協力のもと、方言による昔語りの会を開催。

募集制ワークショップ参加者傾向



自由参加制ワークショップ参加者傾向



(2) プレイショップ

目 的

「Hands and Heart～手と心で感じよう～」をテーマに、日常の中で様々な想像と創造力を生み出すきっかけのひとつとなる場所・空間・時間を提供し、純粹に心で感じ、楽しんでもらっている。日本古来の楽器や玩具、日本独自の手工芸などを紹介するとともに、スイッチやボタン一つで動いてしまうものではなく、自らの手で触り、動かし、感じることができる環境を提供する。現在失われつつある日本の伝統を一部ではあるが伝承していく。

内 容

毎月違うプログラムを展開。今年度は2～3月に「おきたま雛回廊キャンペーン」に協力する形で計画を変更し、ひな祭りにちなんだ造形活動を展開した。

<マンスリープログラム 季節の行事と造形体験>

4月	花祭り	春のおりがみ
5月	端午	myめんこづくり
6月	さなぶり	体験！墨流し
7月	七夕	織姫になろう
8月	盂蘭盆会	わいわいスパッタリング
9月	重陽の節句	秋のおりがみ
10月	お月見	ハニカム紙でつくろう
11月	七五三	オリジナル年賀状づくり
12月	冬至	デザイナーズチェアを楽しもう
1月	お正月／小正月	和紙でつくろう鬼の面
2月	節分	おひなだんだん*
3月	桃の節句	和菓子づくり*



*…雛回廊連携企画

(3) ミュージアムスクール・施設・展示見学・出前授業・職場体験の受入

利用日	内容		利用人数
ミュージアムスクール（学校側が来館・学芸員が授業に参加）			
4月4日（月）	バックヤードツアー	米沢市立興譲小学校	50
9月16日（金）	社会科（昔の道具）	米沢市立三沢東部小学校	16
10月13日（木）	バックヤードツアー	米沢市立万世小学校	56
10月27日（月）	美術科（洛中洛外図屏風）	米沢市立第二中学校	165
11月1日（火）	〃	米沢市立第二中学校	
11月2日（水）	〃	米沢市立第二中学校	
施設利用・見学			
4月27日（水）	研修会	米沢市小学校教育研究部会	28
5月19日（木）	修学旅行	宮城県大河原町大河原中学校	75
6月2日（木）	社会科見学	川西町立吉島小学校4年	27
6月9日（木）	社会科見学	大富小学校4年	40
6月13日（月）	校外学習	県立米沢養護学校中学部1年	1
6月15日（水）	校外学習	米沢興譲館高校1年	200
6月17日（金）	総合学習	米沢市立第二中学校2年	13
6月17日（金）	総合学習	米沢市立東部小学校3年	108
6月20日～7月3日	美術科授業	米沢市立第六中学校3年	42
6月21日（火）	施設見学	米沢市立上郷小学校6年	46
6月23日（木）	社会科見学	鶴岡市立田川小学校5・6年	16
6月24日（金）	美術科教員研修	米沢工業高校	20
6月24日（金）	展示見学	川西町立東沢小学校	14
7月8日（金）	校外学習	米沢市立松川小学校3年	64

8月30日(火)	校外学習	ゆきわり養護学校	2
9月6日(火)	校外学習	米沢養護学校やまなみ学園分教室 高1・3年	2
9月6日(火)	校外学習	米沢市立松川小学校	64
9月6日(火)	社会科見学	米沢市立第一中学校特別支援学級	5
9月7日(水)	校外学習	米沢市立第六中学校1年	44
9月7日(水)	校外学習	米沢市立第七中学校1年	88
9月7日(水)	展示見学	長井市立長井南中学校1年	137
9月8日(木)	ウォークラリー	長井市立長井北中学校1年	103
9月9日(金)	校外学習	米沢市立東部小学校4年	105
9月9日(金)	班別研修(市内)	小国町立小国中学校1年	63
9月15日(木)	学年行事	飯豊町立飯豊中学校1年	75
9月22日(木)	社会科	米沢市立南部小学校3年	77
9月23日(金)	選択美術の授業	米沢市立第三中学校2年	19
9月29日(木)	校外学習	米沢市立三沢東部小学校	9
10月8日(土)~11月6日(日)	美術科	米沢市立第三中学校1~3年	399
10月24日(月)~11月6日(日)	美術科	米沢市立第二中学校	165
10月14日(金)	社会科見学	米沢市立三沢西部小学校3・4年	13
10月27日(木)	美術科	米沢市立第二中学校	165
11月2日(水)	総合学習	米沢市立西部小学校6年	103
11月7日(月)・16日(水)	校外学習	米沢市立東部小学校4年	106
11月11日(金)	校外学習	米沢市立北部小学校4年	111
11月15日(火)	社会科見学	長井市上伊佐沢小学校4年	9
12月1日(木)	校外学習	米沢市立西部小学校特別支援学級	8
12月21日(水)	総合学習	米沢市立万世小学校5~6年	107
2月28日(火)	総合学習	米沢市立興讓小学校6年	48
出前授業(博物館側が学校へ資料を持って出向く)			
5月20日(金)	総合学習	南陽市立漆山小学校	22
7月8日(金)	社会科授業	米沢市立南部小学校6年	70
2月23日(木)	美術科	米沢市立第二中学校	159
8月12日(金)	学童保育	風の子クラブ	36
8月17日(水)	学童保育	窪田児童センター	25
職場体験			
9月	米沢チャレンジウィーク(市内中学校)		18
博物館実習			
8月	博物館実習	各大学	9
教職員研修			
8月	教員10年研修	長井工業高校	1
その他 体験学習室利用ほか			
5月13日(金)	修学旅行	喜多方市立加納小学校	63
5月20日(金)	修学旅行	福島大学付属特別支援学校	11
5月24日(火)	修学旅行	高畠町立屋代小学校4年	39
6月17日(金)	修学旅行	米沢市立第二中学校	10
6月23日(木)	修学旅行	仙台市立岩尻小学校	9
8月7日(日)	施設見学	米沢市立南原中学校3年	50
			合計 3398

□職場体験

米沢市内の中学校がキャリア教育の一環として取り組んでいる「米沢チャレンジウィーク(YCW)」に協力。博物館業務としては、展示室の監視・もぎり等の接客、書庫や収蔵資料の整理等を中心に行った。

米沢市立第一中学校:3名 米沢市立第二中学校:3名 米沢市立第三中学校:2名 米沢市立第四中学校:3名
米沢市立第五中学校:3名 米沢市立第七中学校:3名 米沢市立南原中学校:2名

(4) 情報ライブラリー

無料スペースである情報ライブラリーでは、企画展に関連した書籍をピックアップして紹介し、展示の内容を補った。また、翌年の特別展に合わせ「上杉氏のルーツ」の映像ソフトを制作した。

(5) 博物館実習

博物館学芸員資格取得講座を受講している学生の実習機関として、受入を行った。本年度は下記の通り実施。

佐野千代理（駒澤大学） 小原萌々子（都留文化大学） 三浦 愛未（米沢女子短期大学）
熊谷 彩子（米沢女子短期大学） 鈴木 俊輝（盛岡大学） 白鳥 彩（米沢女子短期大学）
黒島妃沙葉（米沢女子短期大学） 角田 美里（東北芸術工科大学）

平成23年度 博物館実習日程

日付	曜日	午前8:30~12:00	午後13:00~17:30
8月22日	月	あいさつ 事務連絡 博物館概要(館内案内等)	資料の取扱(古文書-自主学習含む)
8月23日	火	各種中性紙箱組み立て作業	近現代美術取り扱い
		フレーム組立次第燻蒸資料運入	資料の取扱(古文書-自主学習含む)
8月24日	水	資料の取扱(工芸品-掛軸、卷子、刀剣)	IPMについて(理論と実践)
8月25日	木	燻蒸資料戻し	資料の取扱(古文書-自主学習含む)・近現代美術取り扱い
8月26日	金	フロント業務/常設展示室のガイド立案	
8月27日	土	常設展示室のガイド立案	常設展示室のガイド立案 総括

(6) その他

■伝国の杜サポーター

インフォメーション・教育普及・広報・レセプションそれぞれが、継続して来館者サービスを中心とした活動を行った。

教育普及

土日・祝日を中心に体験学習室でのプレイショップスタッフとしての活動を継続した。毎月勉強会を開催し、来館者対応や提供するプログラムについて意見交換をし、業務に反映した。

広 報

伝国の杜事業のポスター、チラシの発送作業を随時行った。伝国の杜関連記事の収集と整理を継続して行った。

インフォメーション

土日・祝日を中心館内案内、観光案内を随時行った。

レセプション

ホール公演時の案内補助等を行った。

■伝国の杜ファンクラブ

会員向け事業として山形交響楽団コンサートの事前学習会「講演会<指揮者とはいったい何をする人ぞ?>ミニコンサート<ピアノの魔術師 リストの世界>」を実施。また、開館10周年特典として特別入館券や、カフェのドリンク券の発行、ミュージアムショップの期間限定20%割引などを実施した。

会員数 一般204人 学生8人 ジュニア11人

■事業評価

昨年度から継続し、展示事業について内部評価を行った。また外部評価として伝国の杜運営協議会委員にも6本の展覧会について評価を依頼し、展覧会終了後の総括会議にて報告し改善へとつなげる取り組みを行った。

3 調 査

(1) 館蔵資料調査

(歴史・民俗)

寄贈資料、購入資料、寄託資料の目録作成。古文書の解説を含む概要調査。資料収集に関わる新資料の調査。展覧会準備調査を調査員とともにいった。 調査員(敬称略) 佐藤美保子、和田節子

(2) 資料収集に伴う調査

資料収集の項目参照

(3) 展覧会準備調査

■平成23年度企画展「近くてなつかしい昭和2」資料調査、打合せ等

平成23年6月2日 山形県高島町 高島町郷土資料館

■平成23年度企画展「よみがえる赤羽刀」資料調査、打合せ等

平成23年6月23日 東京都渋谷区 日本美術刀剣保存協会

平成23年7月7日 山形県山形市 山形大学附属博物館

平成23年11月15日 東京都渋谷区 日本美術刀剣保存協会

■平成23年度企画展「本間国生展」資料調査

平成23年7月15日 東京都八王子市 中央大学

平成23年10月15日 神奈川県藤沢市 ギャラリーなるかわ

■平成24年度特別展「上杉鷹山の財政改革―国と民のしあわせ―」資料調査、打合せ、写真撮影等

平成23年11月14日 高知県高知市 高知大学

平成23年12月16日 山形県山形市 横山昭男氏宅

平成24年2月9日 山形県南陽市 御殿守、高岡亮一氏宅

平成24年2月11、12日 新潟県長岡市 長岡市立科学博物館

長岡市与板歴史民俗資料館

三輪氏宅

平成24年2月23、24日 新潟県関川村 重要文化財渡辺家保存会

せきかわ歴史とみちの館

平成24年2月28日 山形県南陽市 高岡亮一氏宅

平成24年3月12日 新潟県関川村 せきかわ歴史とみちの館

平成24年3月29日 山形県酒田市 本間家旧本邸、本間美術館

■平成24年度企画展「美の系譜―国画会にみる山形の美術」準備調査、打合せ等

平成23年9月21日 山形県鶴岡市 致道博物館、鶴岡アートフォーラム

平成24年2月24日 山形県山形市 山形美術館

■平成25年度特別展「上杉家の伝えた戦い」(仮)研究会、打合せ等

平成23年7月1、2日 愛知県犬山市 犬山市文化史料館

(4) 資料調査員による調査

博物館に必要な資料の収集を適正かつ円滑に進めること、また展示、研究等に関する基礎データを得ることを目的として、23年度は下記の調査員に依頼した。任期は1年。

(敬称略)	氏名	分野	備考
	小林 文雄	近世史	山形県立米沢女子短期大学准教授
	小野 榮	郷土史	郷土史家・元米沢市史編纂専門員
	佐藤 繁	美術	米沢市立興譲小学校教頭
	我妻 寿彦	美術	財団法人山形美術館学芸員
	村山 鎮雄	美術	美術研究家・元府中市美術館館長

(5) 上杉家・米沢藩関連資料調査

4 収集保管

(1) 資料収集

平成23年度は収集検討会議を開催せず。以下のリストの案件の受け入れを検討した。

No	分類	資料名	員数	備考
1	文献	蓬田家文書	70点	寄贈
2	文献	蓬田家文書(細井平洲書)	1幅	寄託
3	生活資料	郷土玩具・風俗人形	43点	寄贈
4	文献	堀内文書	1式	寄贈
5	書跡	宮島詠土書	40点	要検討
6	書跡	上杉鷹山書	1幅	要検討
7	書跡	細井平洲書	双幅	要検討
8	文献	渋井太室・細井平洲送別の詩	1巻	要検討
9	絵画	狩野文信筆「文殊菩薩」	1幅	要検討
10	絵画	狩野文信筆「白衣観音」	1幅	要検討
11	絵画	鳥貫馨秀筆「慈母観音」	1幅	要検討
12	刀剣	脇指 銘 米沢住尾形宗義	1口	要検討
13	文献	直江状写	1巻	購入
14	文献	上杉謙信書状写	1紙	寄贈
15	文献	上杉景勝書状写	1紙	寄贈
16	書跡	服部豊山書	1紙	購入
17	書跡	錦帳暁開	1巻	見送り
18	書跡	欧陽詢真千文	1帖	見送り
19	文献	旅日記	1冊	購入
20	文献	孝経	1巻	見送り
21	工芸	黒漆塗長柄銚子	1枝	見送り
22	絵画	小野川温泉図	1点	寄贈
23	文献	米沢戊辰実記草稿	5冊	見送り
24	文献	米沢戊辰実記正本	37冊	要検討
25	書跡	頼山陽書(附頼潔書)	1幅	見送り
26	刀剣	刀 銘 於東都加藤越後頭国秀 文化八年八月吉日	1口	購入
27	彫刻	上杉重房像	1基	要検討
28	工芸	籬道具(竹雀紋行器)	1口	要検討
29	書跡	上杉鷹山書	1幅	要検討
30	書籍	神保蘭室書	1幅	要検討
31	歴史資料	春日山城図	1幅	要検討
32	生活資料	土人形(相良人形か?)	1対	要検討
33	彫刻	鈴木実作「夢は枯野をかけめぐる」	1点	購入
34	絵画	伝小田切寒松軒筆「花鳥図」	6曲1双	見送り
35	彫刻	桜井祐一「北条時宗」	1点	購入
36	絵画	高橋誠「白明」(日本画)	1点	購入
37	書跡	上杉鷹山書	1幅	見送り
38	文献	栗山家文書	1括	寄贈
39	文献	井形家資料	1括	整理中
40	彫刻	桜井祐一 木彫「千利休」(座像)	1点	見送り
41	彫刻	桜井祐一 木彫「日蓮聖人」(立像)	1点	見送り
42	彫刻	桜井祐一 木彫「芭蕉」(立像)	1点	見送り
43	彫刻	桜井祐一 木彫「西行」(立像)	1点	見送り
44	絵画	高瀬捷三「石榴図」(水彩画)	1点	寄贈
45	工芸	椿夏子 型絵染「梅花図着物」	1点	寄贈
46	絵画	香坂茂吉「静物」(油彩画)	1点	寄贈
47	絵画	鈴木蘭涯筆 山水図屏風	6曲1双	寄贈
48	絵画	目賀多守如カ 松竹梅に猿図屏風	6曲1隻	寄贈
49	文献	長谷堂合戦絵図	1鋪	購入
50	文献	上杉弾正大弼宛海山元珠書状	1通	購入
51	文献	直江山城守宛徳川家康書状	1通	購入
52	工芸	今成吉四郎拝領籠(茶入れ)	1口	見送り
53	図書	逸老庵画集	一冊	寄贈

収集委員会 平成23年度は開催せず

収集委員会委員(任期:平成22年7月1日~平成24年6月30日)

加藤 千明(近代美術) 財団法人山形美術館館長 東海林静男(歴史:近代史) 山形県立米沢女子短期大学名誉教授
 濱田 直嗣(古美術) 仙台市博物館顧問 山田 邦明(歴史:中世史) 愛知大学教授
 湯山 賢一(書跡・古文書) 奈良国立博物館館長 横山 昭男(歴史:近世史) 山形大学名誉教授

■受入資料

資料ID	資料名	作者名	件数	点数	受入区分	大分類
A2011-001-001~A2011-001-072	蓬田家文書		1	76	寄贈	歴史資料他
A2011-002-01~A2011-002-43	陶人形、土人形		1	43	寄贈	生活資料
A2011-003	ざくろ図	高瀬捷三	1	1	寄贈	絵画
A2011-004	型絵染 梅花園着物	椿夏子	1	1	寄贈	工芸
A2011-005	棚の上の果物	香坂茂吉	1	1	寄贈	絵画
A2011-006	小野川温泉の図	未詳	1	1	寄贈	歴史資料
A2011-007	逸老庵画集 第一	本間国生	1	1	寄贈	その他
A2011-008-01	山水図屏風	鈴木蘭涯	1	2	寄贈	絵画
A2011-008-02	松竹梅に猿図屏風	日賀多守如か			寄贈	絵画
A2011-009	(年未詳) 2月6日上杉定勝宛海山元珠書状		1	1	購入	歴史資料
A2011-010	(年未詳) 9月5日直江兼統宛徳川家康書状		1	1	購入	歴史資料
A2011-011	上杉景勝公・直江兼統公主従の銅像の原型	新井浩	1	1	寄贈	彫刻
A2011-012	逸老庵額 (本間国雄旧蔵)		1	1	寄贈	歴史資料
A2011-013	夢は枯野をかけめぐる	鈴木実	1	1	購入	彫刻
A2011-014	白明	高橋誠	1	1	購入	絵画
A2011-015-01	フーフェラント著「BLATTERN」(ドイツ小児科医書)		1	2	購入	歴史資料
A2011-015-02	J.Aサクセ約「KINDER-POKJES」(オランダ医書) CD				購入	歴史資料
A2011-016-001~A2011-016-217	栗山家文書		1	510	寄贈	歴史資料他
A2011-017-001~A2011-017-080	高橋里美資料		1	2467	寄贈	歴史資料他
A2011-018-001~A2011-018-346	堀内家文書		1	346	寄贈	歴史資料他
A2011-019-01	(永禄6年カ) 卯月8日長尾越前守宛上杉輝虎書状		1	2	寄贈	歴史資料
A2011-019-02	(天正10年) 3月6日松ヶ軒宛上杉景勝書状				寄贈	歴史資料
A2011-020	北条時宗	桜井祐一	1	1	購入	彫刻

※資料群受入

■受入図書

分類	書名	図書区分	著者名1
376	山形総合学習報告書	単行書	宮城教育大学附属中学校第2学年
175	参宮・遷宮・伊勢神宮	単行書	霞会館資料展示委員会
212.5	川前2遺跡第1・2次発掘調査報告書	単行書	山形県埋蔵文化財センター
718	五百羅漢のお寺	単行書	彦根城博物館
291	豊島郡の村絵図	単行書	豊島区立郷土資料館
454	豊島区地域地図 第4集	単行書	豊島区立郷土資料館
576	漆のナカラ	単行書	福島県立博物館
726	ムーミンと白夜の国の子どもたち	単行書	朝日新聞社
914	抜萃のつづり その70	単行書	熊平雅人
210.5	Jr.日本の歴史⑤	単行書	大石学
721	絵を用い、絵を創る	単行書	馬淵美帆
215.5	愛知県史 資料編13 織豊3	単行書	愛知県史編さん委員会
212.5	王作2遺跡第2次発掘調査報告書	単行書	山形県埋蔵文化財センター
212.5	作野遺跡第2次発掘調査報告書	単行書	山形県埋蔵文化財センター
212	東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的総合研究 平成22年度研究成果報告書	単行書	東北芸術工科大学東北文化研究センター
756	所蔵品選集 刀装具	単行書	川見典久
718	移動する仏像 一有田川町の重要文化財を中心に	単行書	和歌山県立博物館
212	東北一万年のフィールドワーク 4 子玉川	単行書	東北芸術工科大学東北文化研究センター
375	明日の授業に使える小学校社会科 6年生	単行書	歴史教育者協議会

分類	書名	図書区分	著者名1
212.6	歴代城主展・赤瓦の天守閣	単行書	若松城天守閣郷土博物館
911.1	茂吉短歌ポスト作品集 第21集	単行書	斎藤茂吉記念館
751	第10回収蔵展 故小野塚イツ子氏遺贈品展	単行書	小山市立博物館
672	かみのやま 町の記憶 時のスケッチ	単行書	酒井信一郎
215.2	大地に刻まれた信濃の歴史	単行書	長野県立歴史館
S069	國學院大學博物館学紀要 第35輯	単行書	國學院大學博物館学研究室
069	國學院大學「高度博物館学教育プログラム」News Letter 2010	単行書	國學院大學博物館学研究室
210.47	戦国武将小田氏と法雲寺	単行書	土浦市立博物館
213.7	都市おだわらの創生	単行書	小田原市郷土文化館
290	「最上川流域の文化的景観」調査報告書	単行書	山形県教育委員会
210.7	ポスターに見る戦中・戦後	単行書	昭和館学芸部
379	八千浦地区教育ハンドブック	単行書	八千浦地区教育ハンドブック編集委員会
350	山形県勢要覧 平成23年刊	単行書	山形県政策推進部統計企画課
K210.08	別本 歴代古案 第3	単行書	羽下徳彦
721	浮世絵版画 図録目録	単行書	たばこと塩の博物館
718	大岡の石仏	単行書	長野市立博物館
069.52	長野市立博物館収蔵資料目録 歴史10、5、6	単行書	長野市立博物館
589	箒を作る	単行書	守谷英一
K909.25	ひろすけ童話学会報告記録集I	単行書	浜田広介記念館 ひろすけ会
468	倉敷市立自然史博物館 展示解説書	単行書	倉敷市立自然史博物館

分類	書名	図書区分	著者名1
689	旅鶴 夏号 2011	単行書	
718	山形市内仏像詳細調査報告書 2006	単行書	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター
K559	米沢の火縄銃を伝えて	単行書	米沢藩古式砲術保存会
388	むがあし 昔 あったけど	単行書	山路愛子
219.9	沖縄県史 各論編 第5巻 近代	単行書	沖縄県文化振興会史料編集室
752	会津・漆の芸術祭	単行書	福島県立博物館
S212.3	宮城県多賀城跡調査研究所年報2010 多賀城跡	単行書	宮城県多賀城跡調査研究所
S212.3	多賀城跡 一発掘のあゆみ一	単行書	宮城県多賀城跡調査研究所
069.52	真田宝物館収蔵品目録	単行書	真田宝物館
210	歴史民俗研究 第8輯	単行書	板橋区教育委員会
069.84	土佐山内家宝物資料館だより 海神千里 合冊版(第1~30号)	単行書	土佐山内家宝物資料館
596	阿波の食べ物事情	単行書	徳島市立徳島城博物館
721	館蔵浮世絵展	単行書	徳島市立徳島城博物館
759	ひな人形の世界8	単行書	徳島市立徳島城博物館
750	図録日録 ミニチュア (増補改訂版)	単行書	たばこと塩の博物館
216.3	徳川時代大坂城関係史料集 第14号	単行書	大阪城天守閣
210	瓦版にみる 幕末大坂の事件史・災害史	単行書	大阪城天守閣
721	歌麿・写楽の仕掛け人 その名は葛谷重三郎	単行書	サントリー美術館
K721	洛中洛外図屏風に描かれた世界	単行書	群馬県立歴史博物館・米沢市上杉博物館・林原美術館
210.48	武田信玄の娘 菊姫と竹姫	単行書	首藤義之
210.48	武田信玄の画像と不動明王	単行書	首藤義之
210.48	本能寺の変と武田松姫	単行書	首藤義之
212.6	会津藩 殿夷地を守る 一北方警備二百年記念	単行書	若松城天守閣郷土博物館
213.4	埼玉県史料叢書11	単行書	埼玉県教育委員会
069.26	郡山市歴史資料館収蔵資料目録 第25集	単行書	郡山市教育委員会
521	川越城 一描かれた城絵図の世界一	単行書	川越市立博物館
212.5	図説 鶴岡のあゆみ	単行書	鶴岡市史編纂会
210	歴史の資料	単行書	正進社編集部
210.48	決定版 はくらは真田十勇士	単行書	信濃毎日新聞社出版部
752	佐賀の蒔絵師 芦刈梅吉作品集	単行書	鍋島報効会
K289	資料・米沢時代の吉本隆明について その九	単行書	斎藤清一
K289	米沢から出された平洲先生の手紙	単行書	米沢市・東海市交流促進の会
K689	四季折々／上杉の城下町「米沢の旅」	単行書	鈴木デザイン事務所
K376	米沢英和女学校の顔末	単行書	松野良寅
K911	在郷太郎	単行書	高森務
212.6	福島の伊達氏	単行書	対馬亮資
728	殿村藍田	単行書	菅原教夫
K289	一身にして三生	単行書	「青木厚一伝」刊行委員会
K212.5	戊辰戦争と米沢藩 その戦没者を慰霊する招魂碑	単行書	「招魂碑」戦没者芳名復刻事業実行委員会
K379	米沢市西部コミュニティセンター概要 米沢市克雪プラザ紀要 平成18年度	単行書	米沢市西部コミュニティセンター
911	百人一首の世界	単行書	水見清三
210.7	近くて懐かしい昭和あのこと	単行書	畑田公生
K753	上杉からむし文化の彩り 鷹山のなせる織物と復元 図録	単行書	原始布・古代織参考館
K281	郷土史の裏街道 一架空座談会2一	単行書	松野良寅
KS274	懐風 第31号～36号	逐次刊行物	米沢御堀端史蹟保存会
KS206	先人顕彰 第13号～14号	逐次刊行物	研究出版委員会

分類	書名	図書区分	著者名1
KS206	先人顕彰 第16号～17号	逐次刊行物	会報・会誌部
KS206	先人顕彰 第18号 20周年記念号	逐次刊行物	鷹山公と先人顕彰会広報部
KS379	むくどり 第23号、25号、26号、12号	逐次刊行物	廣介先生を偲ぶ会
KS206	温故 第33号、35号、36号	逐次刊行物	米沢温故会
K490	医学の流れ 一米沢藩における西洋医学の振興を併せて一	逐次刊行物	近厚
K281	素顔の先人たち	逐次刊行物	松野良寅
K289	米沢の大恩人 直江兼続公	単行書	高森務
K914	私をとりにまく百	単行書	高森務
721	墨の彩	単行書	滝沢美恵子
748	雪の音	単行書	山中三平
K212.5	戊厄の役と米澤	単行書	置賜史談会
913	奥の細道幻紀行	単行書	斉藤栄
K281	先人の邂逅	単行書	松野良寅
K281	米沢藩 版籍奉還前後の上京者たち	単行書	松野良寅
K210.5	文献と史料 赤穂事件の考察	単行書	上杉虎雄
K210	比較郷土史のすすめ 一郷土の先人を知るために歴史を学ぶ一	単行書	松野良寅
K914	古稀の峠三合目	単行書	松野良寅
K210.5	直江状 一口語訳一	単行書	高森務
K212.5	歴史と文教の街	単行書	上村良作
K289	敬師郊迎送の里	単行書	近野嘉治馬
K914	茶菓晰 続	単行書	高森務
210	新選 日本史図表 年表・地図・資料	単行書	坂本賞三
KS373	社団法人米沢有為会々誌 復刊第56号、58号	逐次刊行物	米沢有為会
KS374	興譲 10号	逐次刊行物	山形県立米沢興譲館高等学校
K721	百歳記念 高森務 近作10点	単行書	高森務
KS060	米沢文化懇話会報 45号～47号	逐次刊行物	米沢文化懇話会
KS060	米沢文化懇話会報 49号～50号	逐次刊行物	米沢文化懇話会
K289	資料・米沢時代の吉本隆明について その八 見聞の思い出	単行書	斎藤清一
K289	我妻榮先生を偲ぶ夕べ	単行書	
K386	上杉雪灯籠まつり	単行書	上杉雪灯籠まつり20回記念事業委員会
K206	先人顕彰 会員名簿 平成10年1月	逐次刊行物	
K206	先人顕彰 会員名簿 平成13年2月	逐次刊行物	
KS206	上杉鷹山公と郷土の先人を顕彰する会 会報 よびん 第30号・31号	逐次刊行物	会報・会誌部
K289	遠藤浩先生の人生行路に思う 一人と学問一	単行書	森泉章
198	天草キリシタン館リニューアル記念「展示図録」	単行書	天草市立天草キリシタン館
702.17	禪寺広寿山の名宝	単行書	北九州市立自然史・歴史博物館
069	生涯学習施策に関する調査研究 博物館 倫理規定に関する調査研究報告書	単行書	日本博物館協会
K289	直江兼続と関ヶ原一慶長五年の真相をさぐる一	単行書	福島県文化振興事業団
210.1	天皇と天下人	単行書	藤井謙治
188	親鸞と妙安寺 一そして、知られざる上州の真宗門徒一	単行書	群馬県立歴史博物館
289	勝海舟関係資料 海舟日記 (五)	単行書	東京都江戸東京博物館都市歴史研究室
069.36	両国地域の歴史と文化	単行書	東京都江戸東京博物館都市歴史研究室
069.36	東京都江戸東京博物館資料目録 占領期カテゴリー	単行書	東京都江戸東京博物館
201	歴史をまなぶ 歴史に学ぶ一歴史学部への招待	単行書	佛教大学歴史学部
386	京都の剣鉾まつり	単行書	
706	作家名でわかる逆引き美術館手帖	単行書	
911.1	斎藤茂吉記念歌集 第37集	単行書	斎藤茂吉記念全国大会運営委員会

分類	書名	図書区分	著者名1
K274	米沢の神社・堂宮 6 一山上地区一	単行書	文化課(市立米沢図書館)
545	あかり	単行書	一関市博物館
728	美術としての書 文学資料としての書	単行書	春日井市道風記念館
709	東京文化財研究所ってどんなところ?	単行書	東京文化財研究所
288	物語と写真でわかる天皇家の歴史	単行書	今谷明
693	絵葉書の世界	単行書	鳥取市歴史博物館やまびこ館
210.3	庭先にひろがる中世 一因幡国荘園の世界一	単行書	鳥取市歴史博物館やまびこ館
718	神と仏、大習合	単行書	鳥取市歴史博物館
K289	かぶき者・前田慶次一文献史料で四百年前の足跡をたどる一	単行書	今福匡
210.48	武田遺領をめぐる動乱と秀吉の野望	単行書	平山優
210.48	消された秀吉の真実 一徳川史観を超えて	単行書	山本博文 [ほか]
212.3	仙台市史 通史編8 現代1	単行書	仙台市史編さん委員会
210.48	新「関ヶ原合戦」論	単行書	白峰句
210.48	慶長5年の上杉景勝VS徳川家康-伊達政宗-最上光政防戦について	単行書	白峰句
210.48	慶長5年の九州における黒田如水・加藤清正の軍事行動(攻防戦と城受け取り)について	単行書	白峰句
210.48	直江状についての書誌的考察	単行書	白峰句
210.48	慶長5年7月・同年9月における石田・毛利連合政権の形成について	単行書	白峰句
K207	第3期 米沢市教育・文化計画	単行書	米沢市教育委員会
K207	米沢市教育・文化計画 平成23年度 目標・重点・事業計画	単行書	米沢市教育委員会
386	京都祇園祭	単行書	中田昭
756	戦国の装い 一井澤昭二甲冑コレクションの世界一	単行書	小山市立博物館
686	汽笛一聲・安城駅120年	単行書	安城市歴史博物館
379	ステージラボ・マスターコース報告書 研修企画支援事業報告書	単行書	地域創造
212.3	和田家資料「内留」弘化三年	単行書	角田市郷土資料館
212.5	飛鳥における考古学的調査	単行書	東北芸術工科大学考古学研究室
K273.1	置賜地域の終末期古墳 4	単行書	東北芸術工科大学考古学研究室
210.48	信長関係文献目録	単行書	岐阜市歴史博物館
728	植松弘祥作品集	単行書	樺墨書院
K768	米沢観世流謡曲同好会 60年の歩み	単行書	
210.47	戦国の城と合戦	単行書	オフィス五稜郭
521	日本画と日本建築の時空	単行書	山崎宏
210.47	戦国時代の足利将軍	単行書	山田康弘
188	清水寺史 第四巻 図録	単行書	清水寺史編纂委員会
175	伊勢神宮と北海道	単行書	霞会館資料展示委員会
159	名将の言葉 武人の生き様と美学	単行書	本郷和人
K270	「週刊置賜」創刊30周年	メディア資料	「週刊置賜」創刊30周年を祝う実行委員会
069.37	横浜市歴史博物館資料目録 第19集	単行書	横浜市歴史博物館
612	海にできた新田	単行書	横浜市歴史博物館
213.5	野田市史 資料編 古代・中世1	単行書	野田市史編さん委員会
345	酒税関係史料集Ⅱ ~大正時代から昭和終戦直後~	単行書	税務大学校税務情報センター-租税史料室
372	三島通庸と洋風学舎 一近代やまがたの学校一	単行書	山形県立博物館
K274	遺跡詳細分布調査報告書 第24集	単行書	米沢市教育委員会
213.6	地域史シリーズ 上板橋	単行書	板橋区立郷土資料館
210.4	都筑区茅ヶ崎城跡と謎のウズマキかわらけ	単行書	横浜市歴史博物館
779	大紙芝居展	単行書	横浜市歴史博物館
611	近世横浜 海岸部の新田開発	単行書	横浜市歴史博物館
210.2	古墳時代の生活革命 一5世紀後半・矢崎山道跡一	単行書	横浜市歴史博物館

分類	書名	図書区分	著者名1
291	寺社参詣・物見遊山 横浜・神奈川の名所	単行書	横浜市歴史博物館
210.2	大昔のムラを掘る	単行書	横浜市歴史博物館
751	一瞬のきらめき まぼろしの薩摩切子	単行書	サントリー美術館
708	夢に挑むコレクションの軌跡	単行書	サントリー美術館
750	おもてなしの美 宴のしつらい	単行書	サントリー美術館
708	徳川四王 井伊家の至宝 一関ヶ原から幕末まで、武蔵野の歴史をたどる一	単行書	香川県立ミュージアム
069.82	収蔵資料目録 2・3	単行書	香川県立ミュージアム
515	日本美術にみる橋ものがたり 一天橋立から日本橋まで一	単行書	三井文庫 三井記念美術館
911	国宝 宝積経要品	単行書	前田育徳会
209	アメリカ古代文明 人 自然 精霊	単行書	Khristaan Villela
721	川端龍子と和歌山 一120年の絆一	単行書	和歌山市立博物館
756	小田原城甲冑展 戦国から近世の甲冑	単行書	小田原城天守閣
069.52	長野市立博物館収蔵資料目録 歴史7	単行書	長野市立博物館
708	よみがえる国宝	単行書	九州国立博物館
210.52	鍋島直茂・勝茂の時代	単行書	鍋島報談会
069.63	高槻市立今城塚古代歴史館 常設展示図録	単行書	高槻市立今城塚古代歴史館
069.63	三畠古代史水運1 一初期ヤマト王権から藤原朝まで一	単行書	高槻市立今城塚古代歴史館
486	いつもとちがう散歩道~まちかどの自然観察~	単行書	平塚市博物館
709	東京文化財研究所 概要 2011	単行書	東京文化財研究所
219.7	薩摩とイギリス 一海が結んだ絆一	単行書	高古集成館
753	芹沢銚介作品をめぐる30の物語	単行書	静岡市立芹沢銚介美術館
K318	米沢市まちづくり総合計画 後期基本計画	単行書	米沢市企画調整部総合政策課
K318	米沢市まちづくり総合計画 概要版	単行書	米沢市企画調整部総合政策課
069.64	神戸市立博物館蔵品目録 美術の部 27	単行書	神戸市立博物館
069.64	神戸市立博物館蔵品目録 考古・歴史の部 27	単行書	神戸市立博物館
210.48	織豊期主要人物居所集成	単行書	藤井謙治
708	不滅のシンボル 鳳凰と獅子	単行書	石田佳也 他
K689	天地人像建立記念誌	単行書	鈴木デザイン事務所
210	「歴史」を動かす 東アジアのなかの日本史	単行書	小島毅
291	絵図学入門	単行書	杉本史子 [ほか]
049	世界トンネル事件簿 アンビリーバボーなウツワ99	単行書	選見精一
K288	上杉家御年譜1 他1111冊	単行書	米沢温故会
391	戦時下にくらした明治航空基地	単行書	安城市歴史博物館
069.26	福島県歴史資料館収蔵資料目録 第42集	単行書	福島県文化振興事業団
069.21	八戸市博物館収蔵資料目録 民俗編(5)	単行書	八戸市博物館
521	城の日本史	単行書	内藤昌
214.1	越後の大名	単行書	新潟県立歴史博物館
069.52	長野市立博物館収蔵資料目録 歴史9	単行書	長野市立博物館
759	きずな 昭和の家族、伝えるこころ	単行書	渡辺尚子
750	華麗なる日本の輸出工芸 世界を驚かせた精美の技	単行書	たばこと塩の博物館
214.1	新潟県の合戦 長岡・柏崎編	単行書	新沢桂大・稲川明雄・本山幸一
213.4	幕末のかすかべ ~開国・攘夷・天狗突~	単行書	春日部市郷土資料館
212.2	南部家の至宝 一名品が伝える盛岡の歴史一	単行書	盛岡市教育委員会歴史文化課
756	名物刀剣 一宝物の日本刀一	単行書	佐野美術館 [他]
210.47	日本の籠城戦	単行書	オフィス五稜郭
375	藩校・私塾の思想と教育	単行書	沖田行司
F220	İmparatorluk Basketbol Federasyonu'nda Modern Basketbol	単行書	F.Cana Bilsel
F220	Ahsap İstanbul Konut Mimarısından Örnekler	単行書	Martin Bachmann

分類	書名	図書区分	著者名1
686	鉄道博覧会 日本と福井の鉄道のあゆみ	単行書	福井県立歴史博物館
175	伊勢神宮御師蔵田一族の歴史	単行書	蔵田国順
756	武士の美意識 ～変わり兜と変わり具足～	単行書	小山市立博物館
919	NHK カルチャーラジオ 漢詩をよむ 日本の漢詩(鎌倉～江戸中期)	単行書	宇野直人
210.47	関東戦国の大乱 一享徳の乱、東国の30年戦争一	単行書	群馬県立歴史博物館
773	米沢地方に於ける能楽思考 米沢金剛流四百年歴史	単行書	猪野宏實
212.6	わかりやすい会津の歴史 古代・中世・近世編	単行書	長尾修 [ほか]
210.4	格付け 戦国100大名	単行書	オフィス五稜郭
361	国想い 夢紡ぎ	単行書	中山恭子
210.47	しらべ図鑑マナベディア 戦国武将55	単行書	清水昇
724	新潟美人展図録	単行書	新潟市歴史博物館
379	ステージボ・マスターコース報告書 研修企画支援事業報告書	単行書	地域創造
069.53	各務原市資料調査報告書 第34号	単行書	各務原市歴史民俗資料館
171	神仏います近江	単行書	神仏います近江実行委員会
K721	洛中洛外図屏風に描かれた世界	単行書	群馬県立歴史博物館・米沢市立博物館・群馬美術館
811	くずし字解説辞典 机上版	単行書	児玉幸多
380	輿	単行書	櫻井芳昭
452	南部藩の北上川舟運と黒沢河岸説図録	単行書	北上市立博物館
721	第二提携洛中洛外図屏風の総合的研究	単行書	黒田日出男
210.47	戦国のコミュニケーション 情報と通信	単行書	山田邦明
752	特別展 華麗なる(京蒔絵) 一三井家と象彦漆器一	単行書	三井記念美術館
911	静山詩集 其の三	単行書	二世 武田静山
215.2	大名の旅 一松代藩の参勤交代一	単行書	長野県教育委員会 文化財課・松代文化施設等管理事務所(真田宝物館)
213.4	受け継がれた文化財 一新指定10年分を大公開一	単行書	さいたま市立博物館
774	襲名全記録 十二代日市川團十郎	単行書	富山治夫
721	二万年の日本絵画史	単行書	宮島新一
210.7	あの日あの時の盛岡 一昭和レトロの世界一	単行書	もりおか歴史文化館
728	道風記念館蔵品図録、第二冊	単行書	春日井市道風記念館
723	日動展 第42回	単行書	日動画廊
709	東京古典会 創立100周年記念誌	単行書	創立100周年記念事業部
KS373	社団法人米沢有為会々誌 復刊第61号	逐次刊行物	米沢有為会
289	生誕400年記念 保科正之の時代	単行書	福島県立博物館
700	Art Journal Vol.68	単行書	アートジャーナル編集委員会
210.4	ビジュアル 源平1000人	単行書	井沢元彦
290	日本歴史旅行地図帳	単行書	成美堂出版編集部
721	水墨画にあそぶ 禅僧たちの風雅	単行書	高橋範子
721	近世御用絵師の史的探究 一幕府制社会における絵師の身分と序列一	単行書	武田庸二郎
212.5	出羽国成立以前の山形 山形と東北大学所蔵重要考古資料	単行書	山形県立博物館
K756	鎌倉時代の備前名刀展 解説	単行書	米沢市立上杉博物館
K289	上杉鷹山公とその時代	単行書	米沢市教育委員会
165	描かれた寺社 中世の指図と明治の社寺目録	単行書	神奈川県立金沢文庫
521	天守閣復興	単行書	大阪城天守閣
721	祇園南海とその時代	単行書	和歌山市立博物館
517	名主奥貫友山と寛保2年の大水害	単行書	川越市立博物館
686	歌集 鉄路有情	単行書	水見清三
313	大正アモクラシー期の政治特別展	単行書	衆議院憲政記念館
216.1	肥田の古墳・城・村 一大地に刻まれた記憶一	単行書	彦根城博物館

分類	書名	図書区分	著者名1
210.5	江戸時代の老いと看取り	単行書	柳谷慶子
702	「なぜ？」から始まる現代アート	単行書	長谷川祐子
210.5	NEXT!!こち亀 お江戸だいすきBOOK	単行書	秋元治
K721	本間国雄展 旅に生きる	単行書	米沢市上杉博物館
702	一冊でわかる 芸術・美術・建築からわかる日本史	単行書	小和田哲男
216.1	武門の絆 一徳川將軍家と井伊家一	単行書	彦根城博物館
216.2	京都御所西一松町物語	単行書	杉山正明
210.48	小山評定 武者列伝	単行書	小山市
K289	今こそ上杉鷹山に学べ	単行書	鈴木貞夫
322	珠玉の荘園「新見庄」	単行書	新見庄ロマンの里づくり実行委員会
620	プランツ&ガーデン 151号(冬号)	単行書	日本園芸協会
212.5	地域から世界へ 山形のモノづくりを通して	単行書	山形県生涯学習文化財団
212.3	せんだいノート ミュージアムって何だろう?	単行書	仙台市教育委員会
210.48	宇都宮国綱のその時代 一戦国大名から豊臣大名へ一	単行書	栃木県立図書館
718	仏のかたち 人のすがた 仙台ゆかりの仏像と肖像彫刻	単行書	仙台市博物館
750	千鳥・樺太・北海道 アイヌのくらし ドイツコレクションを中心に一	単行書	アイヌ文化振興・研究推進機構
069	日本博物館協会 会員名簿 平成23年度	単行書	日本博物館協会
202	福井藩札と江戸時代の貨幣	単行書	福井市立郷土歴史博物館
756	髪・魔術 一金工の名門・後藤家と刀装の美一	単行書	福井市立郷土歴史博物館
210.5	舞三脚 一橋徳川家と田安徳川家 將軍のお身内、文武の家	単行書	福井市立郷土歴史博物館
791	阿波の茶の湯	単行書	徳島市立徳島城博物館
683	阿波の海運 一廻船問屋山西家と金光山仙龍寺一	単行書	徳島市立徳島城博物館
559	阿波の鉄砲 一鉄砲からみた阿波史一	単行書	徳島市立徳島城博物館
K212.5	やまがたの古墳時代 一最上川流域のムラと古墳一	単行書	山形県立きたむ風土記の丘考古資料館
210	記憶の歴史学 資料に見る戦国	単行書	金子拓
210	Story 日本の歴史 増補版	単行書	日本史教育研究会
K289	上杉鷹山	単行書	河合敦
751	李秉昌博士記念 韓国陶磁研究報告 V	単行書	大阪市博物館協会
212.3	伊達氏重臣 遠藤家文書・中島家文書 一戦国編一	単行書	白石市教育委員会
219.9	南城市史 総合版(通史)	単行書	南城市史編集委員会
720	SCOPE POSTCARD EDITION アートポストカード集vol2	単行書	奥村高明
214.3	新修七尾市史 14 通史編 I 原始・古代・中世	単行書	七尾市史編さん専門委員会
069.52	長野市立博物館 常設展示案内図録	単行書	長野市立博物館
682	道が人をつなく 一北国街道の400年一	単行書	長野市立博物館
175	詩でたどる日本神社百選	単行書	進藤彦興
210	中世日本の紙 一アークタイプとしての料紙研究一 前編・後編	単行書	上島有
210.47	戦国北条氏五代	単行書	黒田基樹
070	『南信』新聞美術記事年表 (明治・大正編)	単行書	飯田市美術博物館
721	菱田春草 鑑賞ガイド	単行書	飯田市美術博物館
069	博物館経営論	単行書	白澤恵一
213.7	野崎幻庵と小田原	単行書	小田原市郷土文化館
914	抜萃のつづり その71	単行書	熊平雅人
061	鍋島報効会研究助成研究報告書 第5号	単行書	鍋島報効会
8069.92	徴古館報 第23号	逐次刊行物	鍋島報効会
210.52	歴代藩主と佐賀城	単行書	鍋島報効会
756	当世具足 一大名とその家臣団の備え一	単行書	板橋区立郷土資料館
K289	松柳賞受賞者のあゆみ 3	単行書	松柳賞受賞者会
915	前田慶次道中日記 資料編	単行書	市立米沢図書館

分類	書名	図書区分	著者名1
377	東北大学の概要	単行書	東北大学庶務部広報調査課
377	東北大学の概要 昭和54年度	単行書	東北大学庶務部広報調査課
317	勲章等着用心得	単行書	総理府賞勲局
377	山形大学職員録 昭和50年、昭和51年	単行書	山形大学庶務部人事課
K377	会員名簿 昭和62年版	単行書	伊藤公子
377	東北大学職員録	単行書	東北大学庶務部人事課
377	東北大学職員録 (併設 東北大学医療技術短期大学部)	単行書	東北大学庶務部人事課
377	東北大学職員録 (併設 東北大学医療技術短期大学部)	単行書	東北大学庶務部人事課
377	東北大学職員録 (併設 東北大学医療技術短期大学部)	単行書	東北大学庶務部人事課
377	横浜国立大学職員録 昭和50年度	単行書	横浜国立大学庶務部庶務課
376	同窓会会員名簿 (創立百周年記念号)	単行書	仙台市立片平丁小学校 創立百周年記念事業実行委員会
K376	会員名簿 創立100周年記念	単行書	米沢市立上郷小学校同窓会
376	会員名簿 昭和51年	単行書	宮城県第二女子高等学校二華会
K376	創立八十周年記念 会員名簿 昭和53年	単行書	山形県立米沢東高等学校修誠同窓会
377	山形大学概要 付 山形大学工業短期大学部	単行書	山形大学庶務部庶務課
377	山形大学職員録 昭和49年、58年、59年	単行書	山形大学庶務部人事課
K376	会員名簿 昭和51年、56年、61年、45年	単行書	米沢興譲館同窓会
K377	さわらび会 会員名簿 昭和52年版	単行書	山形県立米沢女子短期大学さわらび会
377	東北学院役員教職員名簿	単行書	東北学院
377	東北学院役員・教職員名簿	単行書	東北学院
377	福島大学職員録 (含 福島大学経済短期大学部)	単行書	福島大学
060	日本学士院会員名簿	単行書	日本学士院
014	山形県生涯教育センター(仮称) 山形県立図書館	単行書	山形県生涯教育振興局・山形県教育委員会
014	中央図書館 一利用案内一	単行書	山形大学附属図書館
377	住所録	単行書	東京女子大学
212.3	考古学上より見た塩竈市周辺の遺跡	単行書	加藤孝
K289	高橋哲学資料	単行書	哲学ゼミナール
K289	高橋里美先生	単行書	松野良寅
K289	高橋里美先生	単行書	渡辺行雄
K280.3	郷土に光をかかげた人々	単行書	上村良作
K372	随想 興譲館今昔夜話	単行書	松野良寅
376	会員名簿 昭和57年	単行書	宮城県第一女子高等学校同窓会
377	住所録	単行書	東京音楽大学
377	東京音楽大学65年史	単行書	東京音楽大学
060	会員氏名録 昭和52・53年用	単行書	山下正美
060	会員氏名録 昭和50・51年用	単行書	末延三次
121	日本思想史概説	単行書	村岡典嗣
K376	創立百周年記念誌 百年のあゆみ	単行書	創立百周年記念事業協賛会誌編集部
060	会員氏名録 昭和46・47年用	単行書	末次三次
K104	全體の立場	単行書	高橋里美
K115	認識論	単行書	高橋里美
K376	会員名簿 創立100周年記念	単行書	米沢市立上郷小学校同窓会
K116	歴史と辯證法	単行書	高橋里美
K111	体験と存在	単行書	高橋里美
K110	高橋里美全集第二巻～七巻	単行書	高橋里美
709	近衛家陽明文庫宝展実施報告書	単行書	弘前市立博物館
K289	「生涯改革者」上杉鷹山の教え	単行書	佃律志

分類	書名	図書区分	著者名1
768	遠山霜月祭	単行書	飯田市美術館・遠山常民大学
K773	米沢金剛流四百年のあゆみ 米沢金剛会史誌	単行書	米沢金剛会会史刊編纂委員会編集部
756	安城ゆかりの大名 藤井松平家	単行書	安城市歴史博物館
210.47	武士の掟	単行書	高橋慎一郎
589	小さなもの集まれ!—榎道具から古民家模型まで—	単行書	福島県立博物館
521	京町家の環境技術と生活態度そして文化の形成	単行書	岡崎基幸・大谷孝彦・鈴木利友・天島秀秋
F768	Deconstructing Tradition in Japanese Music	単行書	Gunnar Jinmei Linder
069.96	宮崎県総合博物館総合調査報告書	単行書	宮崎県総合博物館
S069.02	新島研究 第103号	単行書	同志社社史資料センター第一部門研究
721	もっと知りたい 狩野永徳と京狩野	単行書	成澤勝嗣
210	誤解の日本史	単行書	井沢元彦
521	ビジュアル百科 日本の城1000城 1冊でまるわかり!	単行書	大野信長・有沢重雄・加藤重紀
708	日本藝術の韻 16 名作からのメッセージ -芸術の風貌を捉えて-	単行書	榊田英俊
213.2	西方町史	単行書	西方町史編さん委員会
480	干潟の自然 一汐川干潟・六条潟・三河湾の干潟一	単行書	豊橋市自然史博物館
913	戦国 十冊の名著	単行書	北影雄幸
753	テキスタイル用語辞典	単行書	成田典子
386	神舞い人形 淡路人形伝統の生と死、そして再生	単行書	ジェーンマリー・ロー
213.4	縄文土器百選 inさいたま	単行書	さいたま市立博物館
210.2	特別史跡福井県立一乗谷浅倉氏遺跡 41	単行書	福井県立一乗谷浅倉氏遺跡資料館
915	街道を歩く 一近世富山町と北陸道一	単行書	富山市郷土博物館
708	MIHO GRANDMA II 母なる方へ	単行書	MIHO MUSEUM
216.2	京都を歴史に沿って歩く本 平安～室町時代編	単行書	武光誠

(2) 保管

新規受け入れ資料のデータベース登録
市内小中学校作品貸出
米沢市議会棟アートアセンブリ展示作品貸出
米沢市役所への作品貸出

■収蔵資料数（平成23年度）

大分類	22年度末資料総数	23年度受入点数	平成23年度末資料総数
歴史資料	17,333	3,397	20,730
絵画	1,787	14	1,801
彫刻	294	3	297
工芸	746	1	747
刀剣	70	1	71
書跡	1,573	1	1,574
生活資料	3,084	43	3,127
写真	405	—	405
その他	86	1	87
合計		3,460	28,839

■館蔵資料貸出 21件

■館蔵資料掲載申請件数 383件

■館蔵資料特別利用件数 20件

(3) 修理

絵画＝椿 貞雄 「洋装せる菊子立像」1922年 油彩・画布（額あり）

① クリーニング ② 支持体の補修と絵具の定着・ワニスの調整 ③ 額の安定

土田文雄 「果実図」「風景図」「風景図」「風景図」「海辺」「風景図」

6点のキャンバスの伸ばしとクリーニング

*いずれも東北芸術工科大学文化財修復センターに委託

刀剣＝・刀 於東都加藤綱俊作之／嘉永四年八月日 1振 運寿是一淬之 1振 長さ 79.9cm
・脇指 於江府長運斎綱俊／嘉永四年八月日 1振 長さ 51.8cm
・刀 出羽住義正作 1振 長さ 72.0cm

① 刀剣の粗研ぎをし、深い錆びを落とす。刃こぼれと、刃区を繕う。

② 銅下地で、各刀剣に合わせてハバキを作成する。

③ 白鞘を刀身に合わせて、新規作成する。

④ ハバキに金渡金の表面加工処理をする。

⑤ 刀剣に化粧仕上げ研磨をする。

⑥ 刀剣保管袋に入れる。

(4) 博物館環境

I P M

- ・一般・特別収蔵庫の定期清掃
- ・展示倉庫の定期清掃
- ・トラックヤードへの虫捕りテープの設置
- ・館内空調のフィルタの設置
- ・環境モニタによるチェック
- ・パッシブドインジケータによる有機酸のチェックなど

新規受入資料の燻蒸作業（8月）

- ・トラックヤードにおいてフレーム燻蒸を行った。

管理・運営

(1) 利用状況

平成23年度入館者統計

常設展（月別）

（単位：名）

月	一般	高校生	小中生	合計
4月	2,955	46	294	3,295
5月	14,000	359	2,245	16,604
6月	4,422	278	1,409	6,109
7月	5,385	198	665	6,248
8月	7,452	624	1,122	9,198
9月	5,520	238	1,615	7,373
10月	8,744	206	1,334	10,284
11月	5,715	214	568	6,497
12月	1,202	32	48	1,282
1月	1,268	64	93	1,425
2月	1,715	138	106	1,959
3月	2,402	217	162	2,781
合計	60,780	2,614	9,661	73,055

企画展別入場者数

（単位：名）

企画展名・会期	一般	高大生	小中生	合計
開館10周年記念特別展 「上杉氏のルーツ ～関東管領上杉家～」 平成23年4月16日～6月5日(50日間)	17,719	413	2,698	20,830
開館10周年記念企画展 「上杉氏のルーツ ～関東管領上杉家～」 平成23年6月11日～7月18日(37日間)	4,266	342	524	5,132
開館10周年記念企画展 「近くてなつかしい昭和2 ～昭和の旅の記憶～」 平成23年7月28日～9月25日(58日間)	12,277	582	2,136	14,995
開館10周年記念特別展 「洛中洛外図屏風に描かれた世界」 平成23年10月8日～11月6日(29日間)	9,686	238	1,145	11,069
開館10周年記念企画展 「本間国雄展 一旅に生きる―」 平成23年11月12日～平成24年1月15日(54日間)	3,894	231	263	4,388
開館10周年記念企画展 「よみがえる赤羽刀 一米沢ゆかりの刀剣―」 平成24年1月28日～3月4日(32日間)	2,244	142	140	2,526
追悼 特別展示 「米沢が生んだ日本画の巨星 遠藤桑珠と福王寺法林」 平成24年3月10日～4月8日(19日間)※	3,158			3,158
	53,244	1,948	6,906	62,098

※日数、入館者数は平成23年度中(3月31日)までのもの

(2) 平成23年度発行物

伝国の杜だより VOL. 20

8頁 平成23年9月 5,300部発行

伝国の杜だより VOL. 21

8頁 平成24年3月 5,300部発行

上杉氏のルーツ

79頁 平成23年4月 1,000冊発行

洛中洛外図屏風に描かれた世界

136頁 平成23年4月 3,000冊発行

本間国雄一旅に生きる―

47頁 平成23年11月 500冊発行

米沢の刀工―よみがえる赤羽刀―

96頁 平成24年1月 1,000冊発行

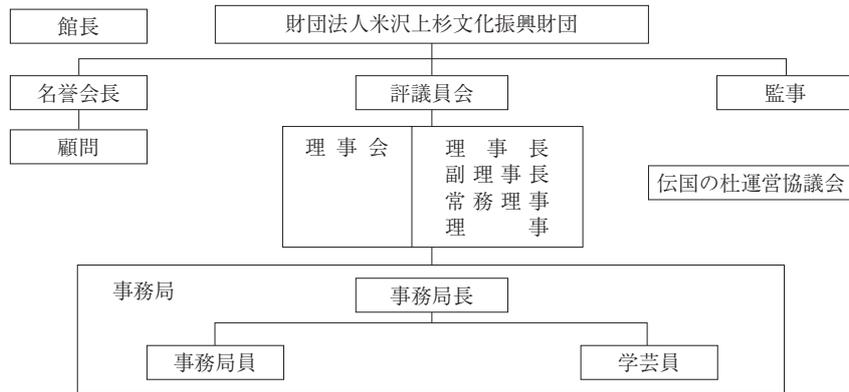
(3) ミュージアムショップ商品紹介

当館ミュージアムショップで販売しているミュージアムグッズの売れ筋ランキングです。

順位	商 品 名
1	花押シール
2	ポストカード 小川通り
3	成せば成る湯呑み
4	洛中洛外図屏風 クリアファイル
5	メモ帳 花押
6	洛中洛外図屏風 立体はがき 2枚
7	ポストカード 正月の内裏
8	手拭い なせばなる／青
9	ポストカード 神輿の渡御
10	手拭い なせばなる／赤



組 織



1. 財団法人米沢上杉文化振興財団

社団法人上杉博物館が平成2年3月に解散し、かわって財団法人米沢上杉文化振興財団が平成2年3月22日に設立され、米沢市立上杉博物館（平成13年9月29日からは米沢市上杉博物館）の管理運営を財団に委託することになった。また、平成18年度より、米沢市上杉博物館の指定管理者として、管理運営を行っている。

この財団は、平成元年、上杉家16代当主隆憲氏より、重要文化財「上杉家文書」・重要文化財「紙本金地著色洛中洛外図」(ともに現在は国宝)・県指定文化財「紙本著色厩図」・重要美術品「太刀銘長船光附打刀拵」の4件が米沢市に寄贈されたことを機として設立されたものであり、地域文化の振興を図るため、歴史・文化に関する調査研究及び美術品の公開展示などの地域社会のより豊かな文化生活に寄与することを目的としている。(平成24年3月19日に公益財団法人として認定を受けている。)

役 員 (敬称略 順不同)

名誉会長	上杉 邦憲					
顧問	安部三十郎	佐藤ひさし	高橋 幸翁	上杉 季雄		
理事長	伊藤 和夫					
副理事長	亀岡 博	松田 俊春				
常務理事	磯部 道昭					
理事	上杉紀美子	上杉 裕憲	遠藤 恵子	笥 統子	小嶋彌左衛門	斎藤 栄助
	酒井 彰	佐藤 政一	真田 幸光	大乘寺 健	種村 信次	原田 時子
	町田 富保	山中 絢子				
評議員	安部 行雄	五十嵐京子	板垣 正明	川合 重穂	九里 廣志	桑原 君子
	佐藤美保子	佐野 隆一	鈴木 秀男	高橋 英機	高橋 幹夫	田中 米子
	手塚 正	新田 妙子	舟山まり子	本田 忠夫	宮坂 直樹	涌井 旦一
監事	加藤 英樹	小林 正夫				

事務局

事務局長	磯部 道昭					
事務局員	角屋由美子	花田 美穂	生熊 郁子	阿部 哲人	安部 理絵	千田 祥子
	寒河江大輔	遠藤 友紀				

2. 伝国の杜運営協議会

財団法人米沢上杉文化振興財団が指定管理者として管理する米沢市上杉博物館および、隣接する置賜文化ホールで開催する自主事業等の適切な運営を図るために設立された諮問機関。

伝国の杜運営協議会員

高橋由紀男 (学校教育関係者)	山田 真一 (学校教育関係者)	遠藤 英 (学校教育関係者)
発智 由紀 (学校教育関係者)	内藤 文徳 (学識経験者)	安部 徹 (学識経験者)
貝沼 安造 (学識経験者)	黒田 三佳 (学識経験者)	原 淳一郎 (学校教育関係者)
加藤ヨシ子 (学識経験者)	遠藤 妙子 (学識経験者)	楠 裕行 (学識経験者)
本田 和也 (学識経験者)		

菜の花と海

遠藤桑珠

1992

紙本着色

170.7×220.7

桑珠の作品の魅力の一つが大胆で明快な構図であると言えます。本作品は画面に引かれた二本の水平な線、そして花畑に走る数本の斜めの線が、画面を引き締めるとともに安定感をもたらしています。

鮮やかな黄色の菜の花には、北国に住む人ならずとも待ちわびる、何物にも代えがたい春の喜びが凝縮されています。

米沢市上杉博物館 年報 VOL.24

平成24年8月印刷・発行

編集：公益財団法人 米沢上杉文化振興財団 発行：米沢市上杉博物館

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1

TEL 0238-26-8001 FAX 0238-26-2660

印刷：有限会社 富士印刷

Feel the arts

伝国の杜

DENKOKU NO MORI

